

II 活動報告

1 主な活動日誌抄

【平成 29 年度】

平成 29 年 4 月

4 月 22 日 第 13 回島根まるごとミュージアム体験ツアー「ローカル鉄道『木次線』で巡る斐伊川流域の地域遺産」開催

平成 29 年 5 月

5 月 12 日 キャンパスツアー（小鴨シニアクラブ 44 名）

5 月 13 日 第 95 回市民講座「国引きジオパークって何？」開催

5 月 13 日～7 月 2 日 島根大学旧奥谷宿舎で「松江ゆかりの石版画展」開催

平成 29 年 6 月

6 月 10 日 第 96 回市民講座「国引きジオパーク・カルチャーサイトを学ぶ」開催

6 月 14 日 団体見学（松江市立川津小学校 100 名）

6 月 20 日 キャンパスツアー（車尾公民館 42 名）

平成 29 年 7 月

7 月 1 日 第 97 回市民講座「松江市内の国引きジオパーク・ジオサイトを学ぶ」開催

7 月 22 日～9 月 3 日 企画展「“国引きジオパーク”は大地（知）のワンダーランド！」開催

7 月 29 日 夏休み・子どもミュージアム体験教室「回転の不思議と仕組みを体験しよう！」開催

平成 29 年 8 月

8 月 5～6 日 オープンキャンパス企画「ミュージアム展示クイズに答えて島大グッズをゲットしよう！」開催

8 月 8 日 団体見学（鳥取県立日野高校）

8 月 9 日 キャンパスツアー（しまね潮風児童クラブ 35 名）

8 月 10 日 団体見学（倉吉市立西・東中学校）

8 月 19 日 第 98 回市民講座「出雲市内の国引きジオパーク・ジオサイトを学ぶ」開催

平成 29 年 9 月

9 月 21 日 団体見学（鳥取県立米子高校）

9 月 24 日 島根大学旧奥谷宿舎で写真展「夢に見た景色を探す旅展 2017」開催

9 月 30 日～12 月 22 日 島根大学旧奥谷宿舎で写真展「まちなこ美術館 in 松江」開催

平成 29 年 10 月

10 月 4 日 団体見学（島根県立松江南高校）

10 月 9 日 島根大学園祭:島大ミュージアム・クイズラリー「展示クイズに答えてミュージアムグッズをもらおう！」開催

平成 29 年 11 月

11 月 13 日 団体見学（フィリピン訪日団 20 名）

11 月 18 日 「しまね大交流会 2017」に出展

平成 29 年 12 月

12 月 16 日 第 99 回市民講座「隠岐産黒曜石の化学分析－石器の原産地推定方法の確立－」開催

12 月 16 日 特別講座 in 広島 Part3 『『出雲国風土記』とホムチワケ伝承』開催

12 月 18 日 キャンパスツアー（タイ・チェンマイ大学訪日団）

平成 30 年 1 月

1 月 6 日 第 100 回市民講座「隠岐諸島黒曜石原産地の開発・利用からみたアジア新人文化の起源と展開」開催

1 月 22 日 団体見学（松江市島根町の団体 20 名）

1 月 27 日 特別講座 in 広島 Part3 「掘り出された『出雲国風土記』の世界」開催

平成 30 年 2 月

2月13日 団体見学（東洋大学留学生 18名）
2月17日 特別講座 in 広島 Part3 『出雲国風土記』と古代を探し求めた人々』開催 2月24日～4月22日 島根大学旧奥谷宿舎で写真展「まちねこ美術館 in 松江 2018 春 私的猫 ～ワタシニトッテノネコ～」開催

平成30年3月

3月10日 第101回市民講座「隠岐国の誕生と古墳」開催
3月17日 第102回市民講座「離島・隠岐の仏教文化－隠岐国分寺を中心に－」開催
3月26日 団体見学（飯南町立頓原小学校 26名）
3月31日 春休み・子どもミュージアム体験教室「こころを表現する－親子でコラージュ療法を体験しよう－」開催

【平成30年度】

平成30年4月

4月7日～6月4日 旧本館臨時休館。旧ミュージアム本館から新総合博物館へ移転作業
4月28日～7月1日 企画展「旧制松江高校独語教師・フリッツ・カルシュ博士生誕125年記念写真展 四ツ手網の記憶」開催

平成30年5月

5月10日 新博物館へパレオパラドキシアを搬入

平成30年6月

6月5日 新しい島根大学総合博物館が開館
6月9日 第103回市民講座「江の川流域・三江線沿線の文化遺産」開催
6月13日 団体見学（松江市立川津小学校 131名）
6月18日 団体見学（三次市立君田中学校）
6月20日 団体見学（韓国慶尚大学校）
6月24日 団体見学（生物資源科学部保護者会）

平成30年7月

7月7日 団体見学（米子市老人会・島根県地学会）
7月7日 第104回市民講座「石見銀山をめぐる戦国争乱の実像」開催
7月12日 団体見学（中国山東大学、鳥取県立米子高校）
7月14日 第14回島根まるごとミュージアム体験ツアー「佐太大神ゆかりの地と島根半島・宍道湖中海ジオパークをめぐる」開催
7月20日～9月1日 企画展「#カিজユウ展」開催
7月21日～8月26日 島根大学旧奥谷宿舎で「50歳記念まるい美術展」開催
7月23日 団体見学（中国西北農林科技大学）
7月24日 雲南市主催「うんなん元気っ子わくわく教室」開催

平成30年8月

8月4日 第105回市民講座「石見銀山の開発とグローバル世界の誕生」開催
8月4～5日 オープンキャンパス企画「ミュージアム展示クイズに答えて島大グッズをゲットしよう！」開催

平成30年9月

9月8日 第106回市民講座「石見銀山の輝きの源を探る」開催
9月11日 団体見学（島根県立江津高校）
9月12日 インスタグラム開始
9月15日～11月25日 島根大学旧奥谷宿舎で写真展「まちねこ美術館 in 松江 2018 秋」開催
9月26日～10月19日 島根県主催「島根県・中国寧夏回族自治区友好交流25周年記念写真展～寧夏の自然と歴史と暮らしと」開催
9月27日 団体見学（松江市立母衣小学校）
9月27日 団体見学（中国寧夏回族自治区政府訪日団）

平成30年10月

10月4日 団体見学（山陰遺跡ネットワーク研修会）
10月7日 島根大学旧奥谷宿舎（旧制松江高校外国人宿舎）に居住したハンス・シュワルベ博士のご家族が来訪。

10月8日 島根大学園祭「クイズに答えてミュージアムグッズをもらおう！」開催

10月9日 団体見学（島根大学農学部1期生同窓会）

10月22日 団体見学（島根県立松江南高校）

10月26日 団体見学（松江市立川津小学校）

平成30年11月

11月10日 団体見学（島根県高文連自然科学専門部）

11月20日 団体見学（鳥取県立倉吉東高校PTA）

11月21日 団体見学（倉吉北高校）

11月21日 本館入館者数1万人達成

平成30年12月

12月15日 「しまね大交流会2018」に出展

12月25日 団体見学（児童クラブ）

平成31年2月

2月2日 体験教室「チョコレートで化石のレプリカを作ろう！」開催

2月16日 第107回市民講座「弥生墳墓からみた出雲と諸地域の交流」開催

2月22日 団体見学（大庭公民館）

平成31年3月

3月2日～31日 島根大学旧奥谷宿舎で「佐陀ハウスギャラリー 堀眈 絵画・彫刻・陶芸・考古資料展」開催

3月9日 第108回市民講座「出雲に来た渤海人」開催

3月16日 第109回市民講座「古代製鉄からみた出雲と吉備」開催

3月23日 第110回市民講座「弥生時代の出雲と吉備の交流」開催

3月25日 団体見学（頓原公民館）

3月26日 旧制松江高等学校のドイツ製光学顕微鏡の寄贈受け入れ

【平成31（令和元）年度】

平成31年4月

4月22日 当館の愛称・マスコットキャラクターを「アシカル」に決定

4月23日 島根大学総合博物館アシカルのパンフレット発行

令和元年5月

5月17日 団体見学（米子市啓成公民館・島根大学OB）

5月28日 キャンパスツアー（松江西高校）

令和元年6月

6月4日 キャンパスツアー（松江西高校）

6月5日 ニュースレター『SHIMADAI MUSE』No.6発行

6月10日 団体見学（島大会員のつどい）

6月12日 団体見学（松江市立川津小学校）

6月13日 団体見学（米国アーカンソー大学）

6月28日 団体見学（中国電力）

令和元年7月

7月6日 第111回アシカル講座「石見の地質と化石」開催

7月12日 団体見学（サマースクール2019留学生）

7月20日 第112回アシカル講座「江戸時代『石見国絵図』を読み解く」開催

7月26日 団体見学（島根大学文理学部OB）

7月30日～9月12日 インターネットミュージアム主催「ミュージアムキャラクターアワード2019」に「アシカル」がエントリー

7月31日 団体見学（台湾大学）

令和元年年8月

8月1～2日 オープンキャンパス企画「ミュージアム展示クイズに答えて島大グッズをゲットしよう！」開催

8月7日 夏休み子どもミュージアム体験教室「顕微鏡を使って池の水からゾウリムシを見つけよう！」開催

8月9日 団体見学（児童クラブ）
8月20日 団体見学（島根大学教職員児童会）
8月24日 第113回アシカル講座「海のたたら、川のたたら～石見のたたら製鉄～」開催
8月28日 団体見学（中国寧夏回族自治区訪日団）
令和元年9月
9月7日 第114回アシカル講座「地図から読み解く石見の集落」開催
9月9日 団体見学（島根県立浜田高校）
9月12日 「ミュージアム キャラクターアワード2019」で「アシカル」が10位に決定
令和元年10月
10月5日～12月1日 島根大学旧奥谷宿舎で「猫写真展【Happy?】まちなこ美術館 in 松江2019」開催
10月8日 団体見学（島根県立江津高校）
10月9日 団体見学（島根県立松江南高校理数科）
10月12日～11月30日 アシカル企画展「南極調査物語」開催
10月13日～14日 島根大学園祭「クイズに答えてミュージアムグッズをもらおう！」開催
10月19日 島根大学公開講座「第15回島根まるごとミュージアム体験ツアー～出雲の石・銅・鉄文化の地を巡る」開催
10月23日 団体見学（松江市立川津小学校）
令和元年11月
11月18日 キャンパスツアー（出雲市斐川町・寿昌クラブ）
令和元年12月
12月4日 団体見学（島根県立出雲農林高校、島根県高等学校理科教育協議会）
12月7日 第115回アシカル講座「出雲国風土記と神門郡」開催
12月11日 団体見学（島根県立松江農林高校）
12月18日 団体見学（ベトナム・ノンラム大学）
12月18日 本館入館者数2万人達成
令和2年1月
1月25日 第116回アシカル講座「考古学からみた出雲国神門郡・大原郡の官衙遺跡」開催
令和2年2月
2月8日～3月29日 島根大学旧奥谷宿舎で「猫写真展【Innocent】まちなこ美術館 in 松江2020」開催（新型コロナウイルス感染症対策のため4月4日～5日は開催中止）
2月11日 冬の子どもミュージアム体験教室「チョコレートで化石・土偶のレプリカを作ろう！」開催
2月15日 第117回アシカル講座「発見！古代の山陰道―出雲市杉沢遺跡の調査を中心に―」開催
2月26日～4月3日 アシカル企画展「東アジアと出雲」開催（新型コロナウイルス感染症対策のため4月4日～11日は開催中止）
令和2年3月
3月14日 第118回アシカル講座「考古学からみた『出雲国風土記』研究最前線」開催中止（新型コロナウイルス感染症対策のため）

2 新総合博物館の開館

(1) ミュージアム移転作業と総合博物館の開館

島根大学ミュージアムは、これまで狭隘な施設が分散していたことから、下記のような様々な問題が生じていた。

- ・「ミュージアム本館展示室」は、もともと狭隘（約 32 m²）で、充実した展示が困難である。昭和 38 年築のミュージアム本館建物は、内壁の亀裂、塗装の剥落などが随所にみられ、平成 22 年には天井から漏水、平成 26 年には水道管から漏水が発生するなど老朽化が顕著で、博物館施設としては不適切である。

- ・「山陰地域資料展示室（約 67 m²）」は、通常は閉館しており、予約に応じて開館する体制となっ

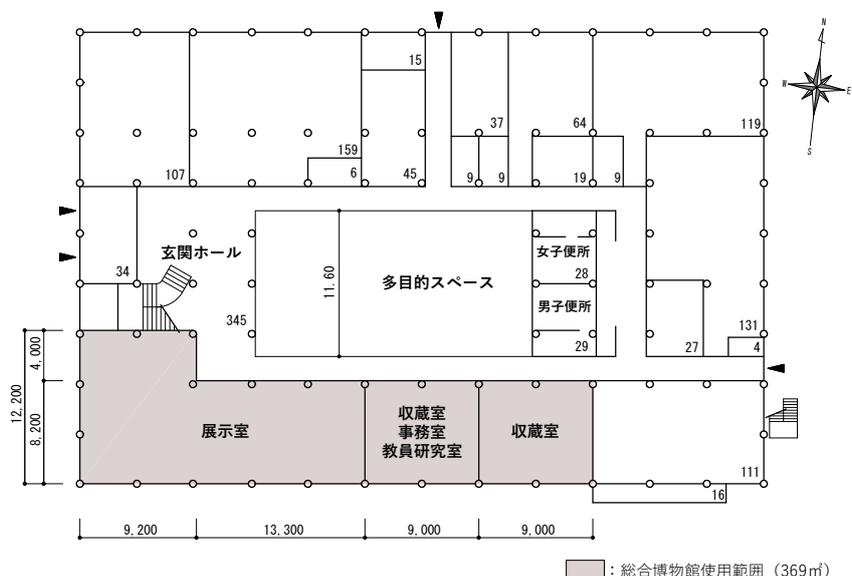


図 2 島根大学総合博物館配置図（生物資源科学部 3 号館 1 階網かけ部分）
展示室約 221 m²、作業室・研究室約 74 m²、収蔵室約 74 m²、合計約 369 m²

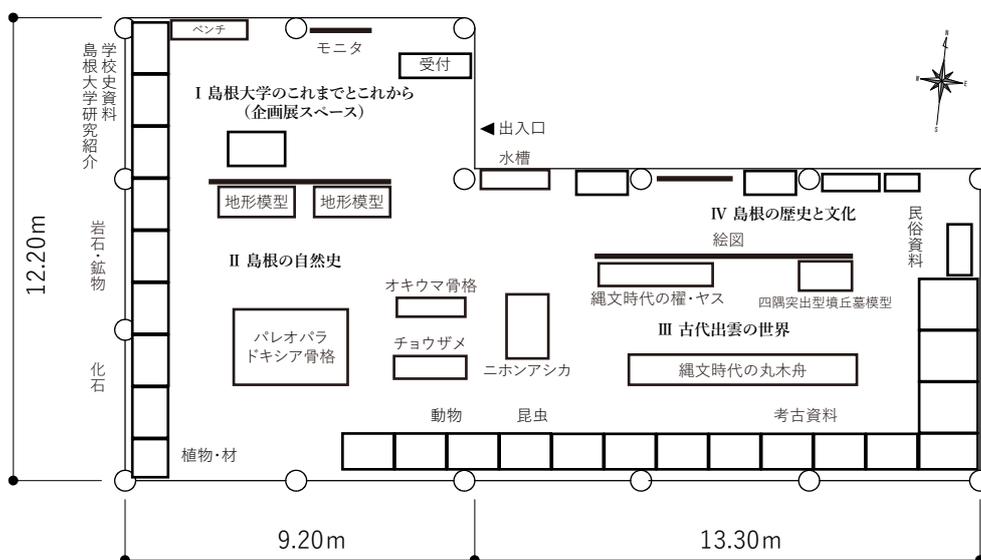


図 3 島根大学総合博物館展示室配置図



オープニングセレモニーの様子
挨拶される服部泰直学長（H 30.6.5）



オープニングセレモニーでのテープカット
左から秋重幸邦理事、服部泰直学長、入月俊明館長（H 30.6.5）



総合博物館本館の外観
生物資源科学部棟3号館（R元 .5.11）



展示室内
（R元 .6.4）

ているため飛び込みの来館者が見学できない。

- ・法文学部考古学研究室所蔵の考古資料を展示しているプレハブ「古代出雲資料展示室」は、耐震上の問題があるため一般開放ができない。

- ・資料の保管スペースに余裕がないことから、教員の異動・退職に伴って、各部局の収集資料が散逸する可能性が高く、部局や教員個人からも、ミュージアムでの収蔵・展示が要望されている。

このような問題点を解消するため、長年にわたって、資料を一元的に保管・展示する新しい博物館の設置を要望してきた。こうした懸案事項を大学当局にご理解いただくことができ、平成29年9月の施設整備委員会で生物資源科学部棟3号館1階の学内共有スペースを博物館として借用することが認められた。

平成30年3月からもともと教室だったスペースの改修工事を行い、平成30年4月から展示ケースなどの什器類、所蔵標本の移転作業を開始した。

このような経緯を経て、平成30年6月5日、島根大学総合博物館が開館した。開館セレモニーは、服部泰直学長および入月俊明館長の挨拶、服部泰直学長・秋重幸邦研究学術情報機構長・入月俊明館長によるテープカットが滞りなく進められ、当館の初代副館長を務められた渡辺貞幸名誉教授をはじめ、多くの学内外関係者・学生にご臨席いただくことができた。さらに、新聞・テレビでも大きく報道された。

（2）総合博物館の愛称・マスコットキャラクター「アシカル」

総合博物館では、親しみのある博物館を目指して、館の愛称とマスコットキャラクターを募集した。その結果、学内外からマスコットキャラクター 327 点、愛称 937 点の応募があり、厳正な選考のうえ、平成 31 年 4 月 22 日、島根大学学生が考案した下記の作品に正式に決定した。愛称「アシカル」は法文学部の青山沙香氏、マスコットキャラクター原案は法文学部の小池真雪氏によるものである。

キャラクターは、当館のパンフレット・ホームページなどで使用し、学生や市民から末永く愛される博物館を目指していきたいと考えている。

館の愛称・マスコットキャラクター 「アシカル」

愛称・キャラクターの由来

キャラクターは、当館の目玉的な展示資料「ニホンアシカ」(表紙写真)に由来している。「アシカル」は、「ニホンアシカ」と「カルチャー」を合成した名前である。また、足(あし)を軽(かる)くして気軽に来館していただきたいという願いもこめている。さらに、社会貢献・環境保全などを表す「エシカル (ethical)」の意味も含まれている。



アシカル

マスコット・キャラクター「アシカル」



館長から、アシカル発案者の学生に副賞を進呈
(H 31.4.22)

3 標本資料類などの収集、整理・保管、調査研究

(1) 標本資料類などの収集

下記の資料を受け入れた（表1）。

表1 受入資料一覧

資料名	受入日	受入元	数量	備考
貝化石など	2017.8.2	内田賢治氏	36箱	主に古浦層・大森層・布志名層産
液浸標本	2018.7.25	島根大学生物資源科学部生命科学科	24点	
ハンス・シュワルベ博士 (Dr.Hans Schwalbe) に関連する写真・手紙	2018.10.7	フリーデリケ・シュワルベ氏 (Ms.Friederike Schwalbe)	写真 19 枚 手紙 1 通	
ハンス・シュワルベ博士 (Dr. Hans Schwalbe) に関連する写真	2018.10.9	個人	85 枚	
旧制松江高等学校教官の椅子	2018.11.9	西上一義島根大学名誉教授	1 点	
バラ輝石・珪乳石・石灰岩・鏡鉄鉱	2018.11.22	新宮敦弘氏	4 点	県内採取
旧制松江高等学校の光学顕微鏡	2019.3.26	西上一義島根大学名誉教授	1 式	本体・収納木箱・対物レンズ・接眼レンズなど。ドイツ エルンスト・ライツ (Ernst Leitz) 社、1920 年代製

(2) 標本資料類などの整理・保管

総合博物館所蔵資料は、総合博物館収蔵室において適切な環境のもとに整理・保管した。また、「島根大学標本資料類データベース」に登録するため、昆虫標本をはじめとした所蔵資料などのデータ整理・デジタル写真撮影を進めた。また、下記の資料を他機関に貸し出した。

①資料名 オロリン（レプリカ）大腿骨・顎骨の一部（寄託資料）2点、アウストラロピテクス（レプリカ）1点、クロマニヨン人（レプリカ）1点

期 間 平成30年7月10日～10月20日

貸出先 島根県立三瓶自然館

理 由 平成30年度夏期特別企画展における展示のため。

②資料名 島根大学構内遺跡出土縄文土器・石器 13点

期 間 平成30年10月9日～平成31年1月25日

貸出先 広島大学総合博物館

理 由 第13回企画展「大学と埋蔵文化財」における展示のため。

③資料名 オオキララガイモドキ化石・シンジタヒチオビガイ化石・モニワホタテガイ化石・ヨコヤマビノスガイ化石・島根大学構内遺跡出土縄文土器など

期 間 平成30年12月28日～平成31年1月25日

貸出先 島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会

理 由 松江市立図書館における島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク紹介ミニ展示のため。

④資料名 ダイオウシラトリガイ化石・ミズホタコブネ化石ほか（寄託資料）14点

期 間 平成31年2月28日～4月25日

貸出先 出雲科学館

理 由 企画展「化石展～化石にタッチ！昔をウォッチ！～」における展示のため。

4 博物館学および標本資料類などに係る学生教育

(1) 学芸員養成課程科目

平成 29～31 年度、ミュージアムが開講した科目は表 2 の通り。「博物館法施行規則」の一部改正によって、学芸員資格取得に必要な単位数が大幅に増加したことを受けて、平成 24 年度から新カリキュラムによる授業を開始している。

表 2 学芸員資格取得に必要な科目（平成 31 年度）

【平成 24～30 年度以降入学生・編入生・科目等履修生】

博物館法施行規則に定める科目及び単位		法文学部学生	生物資源科学部学生	総合理工学部学生
科目	法定単位			
生涯学習概論	2	生涯教育論（後期集中）（仲野 寛・*宮地孝宜）		
博物館概論	2	選択	博物館概論 A（前期）（会下和宏）	
			博物館概論 B（前期集中）（*松岡敬二）	
博物館資料論	2	博物館資料論（前期）（会下和宏）		
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論（後期）（*澤田正明・会下和宏）		
博物館展示論	2	選択	博物館展示論 A（後期）（会下和宏）	
			博物館展示論 B（後期集中）（*菅田康彦）	
博物館経営論	2	博物館経営論（前期集中）（*永井 泰）		
博物館情報・メディア論	2	選択	博物館情報・メディア論 A（後期）（会下和宏） 1 単位	
			博物館情報・メディア論 B（後期集中）（会下和宏） 1 単位	
博物館教育論	2	教育の方法と技術（後期）（権藤誠剛） 2 単位		教育の方法と技術（後期集中）（森本直人） 2 単位
		教育原論 II（前期）（*岡部美香） 2 単位		教育原論 II（後期集中）（*岡部美香） 2 単位
博物館教育論	2	選択	博物館教育論 A（後期）（会下和宏） 1 単位	
			博物館教育論 B（後期集中）（会下和宏） 1 単位	
博物館実習	3	・博物館実習 I（学内実習）（前期）（会下和宏） 1 単位 ・その他、専門科目の実習で振替		博物館実習 I（学内実習）→専門科目の実習で振替
		博物館実習 II（学内実習）（前期）（会下和宏） 1 単位		博物館実習 II（学内実習）（前期）（石田秀樹・宮永龍一・林 蘇娟・高畠育雄・会下和宏） 1 単位
		博物館実習 III（館園実習）（前期集中）（会下和宏） 1 単位		博物館実習 III（館園実習）（後期集中）（石田秀樹・宮永龍一・秋廣高志） 1 単位

表 3 学芸員関係科目の受講者数

	年度（平成）	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
博物館概論	法文学部	51 (4)	36	32 (1)	32	34	40	37	33	26	26	27
	生物資源科学部	34	49	32	29	38	23	16	28	29	28	20
	総合理工学部	43	47	17 (1)	36	17	28	40	21	30	24	15(1)
	合計	128	132	81	97	89	91	93	82	85	78	62
博物館実習 III （館園実習）	法文学部	52 (2)	34 (4)	33 (2)	27	20	17 (1)	28 (1)	24	26 (1)	13	18
	生物資源科学部	32	14	22	24	20	19	14	24	16	14	17
	総合理工学部	9	10	19 (1)	9	14	10	8	18	7	4	22(1)
	合計	93	58	74	60	54	46	50	66	49	31	57

※人数は未修者なども含む。／（ ）内は社会人・大学院受講生（科目等履修生）の人数

平成 29～31 年度における学芸員資格取得に必要な科目の受講者数は、表 3 の通り博物館概論で 3 学部合計 62～85 名を数える。課程の最終段階で受講する博物館実習Ⅲ（館園実習）では、3 学部合計 31～57 名を数える。

なお、平成 29～31 年度に博物館実習Ⅲ（館園実習）で学生を受け入れていただいた学外の施設は下記の通りである。記して感謝したい。

・法文学部：島根県立美術館・島根県立古代出雲歴史博物館・和鋼博物館（平成 29 年度）・松江歴史館（平成 30 年度）

・生物資源科学部：島根県立三瓶自然館・島根県立宍道湖自然館

・総合理工学部：モニュメントミュージアム来待ストーン（平成 29 年度）・奥出雲多根自然博物館

（2）教養科目「島大ミュージアム学」「地域博物館へのいざない」

後期に教養科目の「島大ミュージアム学」（平成 31 年度より「地域博物館へのいざない」に改称）を開講した。概要は以下の通り。

授業科目名 島大ミュージアム学－島根大学と島根県の自然・歴史・ひと・文化

地域博物館へのいざない（平成 31 年度より改称）

授業の目的 島根大学で学ぶ学生は、県内外の出身地を問わず、島根県の自然・歴史・文化や本学の学校史、顕著な業績をあげた教官・卒業生などについての知識が希薄であるように見受けられる。そこで本授業では、「ミュージアム」「フィールド」「モノ」をキーワードにして、島根県の自然・歴史・文化や島根大学の学校史・著名人（自校教育）などの基礎的事項について、学際的に学ぶものとする。達成目標 島根県・島根大学について、広い基礎知識を得てもらうようにする。本授業を通して、学生や地域市民のなかに、島根県や本学に対する誇り・愛着が醸成されることを期待する。

科目 教養科目・選択

対象 1 年次、市民

単位数 2 単位

担当教員 会下和宏（島根大学総合博物館教授）、角田徳幸（島根県教育委員会）、小泉凡（島根県立大学短期大学部教授・小泉八雲記念館館長）、中村唯史（島根県立三瓶自然館）

評価 受講登録者数は、平成 29 年度が 215 名、平成 30 年度が 302 名、平成 31（令和元）年度が 203 名。1 回分は、旧制松江高校ドイツ人教師宿舎として建てられた島根大学旧奥谷宿舎（総合博物館分館、松江市奥谷町）やその周辺を散策し、歴史的な町の風景の価値、これらの保護と活用などについて考えさせた。また他 1 回分は、総合博物館展示室において前身校の時代から収集されてきた標本類の見学を行った。



博物館実習Ⅲ（法文学部学生向け）

島根大学総合博物館に団体見学に来た小学生に展示解説する法文学部実習生（H 30.9.27）



教養科目「島大ミュージアム学」

（H 30.10.26）

5 標本資料類などに係る普及啓発及び地域貢献

島根大学憲章に明記された、「地域に根ざし、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」という本学の理念を具体的に実現させるために、ミュージアムミッションに沿って、以下のような、様々な展示・教育普及プログラムを開発・企画・実施した。

(1) 入館者数

①平成 29 年度ミュージアム本館展示室・山陰地域資料展示室（表 4）

学内の展示施設のうち、ミュージアム本館（ミュージアム管轄）と山陰地域資料展示室（エスチュアリー研究センター管轄）の入館者数は表 4 の通り。

ミュージアム本館は、平日（月～金）午前 9 時～午後 4 時 30 分開館。平成 27 年度以降、入館者数が増加し、平成 29 年度は過去最多の 2,344 名を数え、有終の美を飾ることができた。

表 4 入館者数一覧（平成 29 年度まで）

	ミュージアム本館 （平日開館）	山陰地域資料展示室 （団体客・希望者のみ）	旧奥谷宿舎・分館 （土日祝日開館）	計
平成 18 年度計	878	589	—	1,467
平成 19 年度計	820	2,205	—	3,025
平成 20 年度計	620	808	—	1,428
平成 21 年度計	742	556	1,905（10～3月）	3,203
平成 22 年度計	1,018	856	2,105	3,979
平成 23 年度計	1,103	1,044	1,430	3,577
平成 24 年度計	1,002	1,042	2,076	4,120
平成 25 年度計	1,262	1,058	1,201	3,521
平成 26 年度計	1,038	1,006	1,265	3,309
平成 27 年度計	1,661	1,181	1,204	4,046
平成 28 年度計	1,818	740	1,369	3,927
29.4	205	94	79	378
29.5	164	70	114	348
29.6	201	143	82	426
29.7	398	19	67	484
29.8	452	117	76	645
29.9	92	55	150	297
29.10	260	81	264	605
29.11	93	39	142	274
29.12	307	206	123	636
30.1	64	52	42	158
30.2	42	29	38	109
30.3	66	29	102	197
平成 29 年度計	2,344	934	1,279	4,557
累計 （平成 18～29 年度）	14,306	12,019	13,834	40,159

②平成 30～31 年度総合博物館アシカル（本館）（表 5）

「2 新総合博物館の開館」で述べたように、平成 30 年 6 月 5 日、新しく総合博物館が開館した。マスコミなどで大きく報道されたこともあり、開館当初の 6～7 月は、各月 2,500 名前後の入館者を迎えることができ、最終的に、平成 30 年度（6 月～翌 3 月）の入館者数の合計は 12,152 名となった。2 年目の平成 31 年度は、4 月から 12 月にかけて約 600～1,300 名で推移したが、1～3 月

が伸び悩み、年間合計 9,502 名となった。今後、いかに持続的に入館者を確保していくかが課題になる。

表 5 入館者数一覧（平成 30・31 年度）

	総合博物館・本館 (月～土開館)	旧奥谷宿舎・分館 (土日祝日のみ開館)	計
30.4	—	168	168
30.5	—	87	87
30.6	2,449	62	2,511
30.7	2,535	71	2,606
30.8	1,715	36	1,751
30.9	1,036	102	1,138
30.10	1,140	110	1,250
30.11	1,311	318	1,629
30.12	549	34	583
31.1	486	45	531
31.2	491	30	521
31.3	440	89	529
平成 30 年度計	12,152	1,152	13,304
31.4	810	57	867
令和元 .5	702	56	758
元 .6	724	41	765
元 .7	1,319	32	1,351
元 .8	1,067	31	1,098
元 .9	619	33	652
元 .10	1,257	311	1,568
元 .11	897	143	1,040
元 .12	801	40	841
2.1	465	46	511
2.2	547	149	696
2.3	294	111	405
平成 31 (令和元) 年度計	9,502	1,050	10,552
平成 30～平成 31 (令和元) 年度 総計	21,654	2,202	23,856

③島根大学旧奥谷宿舎（分館）（松江市奥谷町 140、表 4・5）

松江市奥谷町にある島根大学旧奥谷宿舎（分館）は、平成 21 年 10 月に修復工事を終えてオープンし、原則、土日祝日のみ午前 10 時～午後 5 時に開館している。入館者数は表 4・5 の通り。近年は、1,200 名台で推移してきたが、平成 30・31 年度はそれを割り込んでしまった。今後、一層の集客に注力する必要がある。

（2）常設展示

①平成 29 年度島根大学ミュージアム（本館）（開館日：平日 9：00～16：30）

常設展示 1 「遺跡が語る島根大学の歴史」

島根大学松江キャンパスから出土した縄文時代から近代までの考古資料・写真パネルなどを用いた、キャンパスの歴史を展示。

常設展示 2 「動物・骨・化石」

島根大学前身校の旧制松江高校・島根師範学校時代に教材として使用されていた動物標本・骨格標本や島根大学の各研究室が教育研究のなかで収集してきた化石、南極の岩石などを展示。

②平成 30・31 年度・島根大学総合博物館アシカル（本館）（開館日：月～土 10：00～17：00）

下記の4つの展示大テーマのほか、スポット展示、学生サークルが管理する水槽展示などから構成される。

常設展示大テーマⅠ「島根大学のこれまでとこれから」

明治8年からの長い歴史を有する島根大学の過去の写真や資料などから、本学の歴史をふりかえる。さらに、現在の本学における教育研究について紹介し、島根大学の将来を展望する。

常設展示大テーマⅡ「島根の自然史」

主に島根県をはじめ、山陰や日本列島などの自然史資料の陳列型展示。主な展示資料として、世界最古のアユ化石、パレオパラドキシア骨格復元模型、国内最古のニホンアシカ剥製標本、唯一のオキウマ骨格標本などをはじめ、岩石・鉱物・化石・動植物・昆虫などがある。

常設展示大テーマⅢ「古代出雲の世界」

島根県の考古学の基礎を築かれた故山本清・島根大学名誉教授が収集された県内各地の資料（法文学部考古学研究室所蔵）や島根大学キャンパスから出土した資料など、おもに縄文時代から平安時代頃までの考古資料を時代別に展示。

常設展示大テーマⅣ「島根の歴史と文化」

島根の歴史資料や民俗資料などを展示。主な展示資料として、出雲・石見・隠岐の国絵図、江戸時代初期の松江城下町絵図、奥出雲の伝統工芸品そろばんの製作道具などがある。

③島根大学旧奥谷宿舎（分館）（開館日：土日祝日 10：00～17：00）

常設展示「写真が語る島根大学の歴史と旧奥谷宿舎」

島根大学旧奥谷宿舎（分館）の1階常設展示室①②において、島根大学とその前身校（旧制松江高等学校・島根師範学校・島根県立農科大学・島根医科大学など）および島根大学旧奥谷宿舎（旧制松江高等学校外国人宿舎）の写真・関連資料などを展示。

（3）企画展示など

①平成 29 年度島根大学ミュージアム企画展「国引きジオパークは大地（知）のワンダーランド！」

日時 平成 29 年 7 月 22 日（土）～9 月 3 日（日） 土日祝日のみ 10：00～17：00

場所 島根大学旧奥谷宿舎（松江市奥谷町 140）

内容 日本ジオパーク登録を目指している「国引きジオパーク（平成 29 年 12 月、島根半島・宍道湖中海ジオパークとして登録）」に関する展示。展示物は、パネル・関連動植物・岩石・考古資料など。

②平成 30 年度島根大学ミュージアム企画展「旧制松江高校独語教師・フリッツ・カルシュ博士生誕 125 年記念写真展 四ツ手網の記憶」

日時 平成 30 年 4 月 28 日（土）～7 月 1 日（日） 土日祝日のみ 10：00～17：00

場所 島根大学旧奥谷宿舎（松江市奥谷町 140）

内容 大正から昭和のはじめ、島根大学旧奥谷宿舎（旧制松江高等学校外国人宿舎）に暮らしたドイツ人教師・フリッツ・カルシュ博士は、戦前の美しい松江の写真を数多く残した。平成 30 年が博士の生誕 125 年であることを記念して、博士が撮影した写真を展示する。

③平成 30 年度島根大学総合博物館企画展「# カイジュウ展」

日時 平成 30 年 7 月 20 日（土）～9 月 1 日（土） 10：00～17：00

場所 島根大学総合博物館

内容 海獣（カイジュウ）の生態や人との関わりについて、動物学や歴史学などの様々な視点から紹介する。

<主な展示物>

- ・美保関で捕獲された19世紀のニホンアシカ剥製標本（島根大学総合博物館所蔵）
- ・浜田で捕獲されたキタオットセイ剥製標本（島根県立しまね海洋館所蔵）
- ・浜田で捕獲されたキタオットセイ骨格標本（島根県立しまね海洋館所蔵）
- ・北海道えりも岬のアザラシの写真（写真家コバヤシカヨ氏撮影）
- ・映像「アザラシの棲む岬」（北海道えりも町制作）、「シロイルカ誕生」（しまね海洋館アクアス制作）
- ・その他写真パネルなど

④特別企画『島根県・中国寧夏回族自治区友好交流25周年記念写真展～寧夏の自然と歴史と暮らし』

主催 島根県

共催 島根大学総合博物館、島根大学・寧夏大学国際共同研究所

日時 平成30年9月26日（水）～10月19日（金） 10：00～17：00

場所 島根大学総合博物館

内容 島根県と中国・寧夏回族自治区は1993年に友好協定を締結、2004年には島根大学・寧夏大学国際共同研究所が設置された。この間、文化・教育・学術・経済など、さまざまな交流が生まれ、友好の絆はますます深まっている。この写真展では、島根県と関わりが深い寧夏回族自治区の自然・歴史・暮らし・芸術などに関わる写真を展示する。

⑤令和元年度島根大学総合博物館アシカル企画展「南極調査物語」

主催 島根大学総合博物館

共催 島根大学エスチュアリー研究センター

協力 林正久島根大学名誉教授・島根大学教育学部 大谷修司研究室・島根大学生物資源科学部 秋吉英雄研究室・島根大学総合理工学部 亀井淳志研究室

日時 令和元年10月12日（土）～11月30日（土） 10：00～17：00

場所 島根大学総合博物館アシカル

内容 日本の南極観測は、1910年に行われた南極探検隊による調査をはじめとし、1956年に南極地域観測隊が昭和基地を開設してから継続的に行われている。島根大学からも数多くの研究者が南極地域観測隊に参加し、過酷な環境の中で調査研究活動に従事してきた。また、令和元年度も本学から3名が観測隊に参加予定である。こうした島根大学と南極調査との関わりから、この企画展では、南極大陸やそこでの調査活動の様子について、調査に参加した本学教員による作成標本や写真をもとに紹介する。

<主な展示物>

- ・入手困難な南極大陸採集の岩石・鉱物（林正久島根大学名誉教授コレクション、亀井淳志総合理工学部教授所蔵など）
- ・南極大陸調査の写真（香月興太島根大学エスチュアリー研究センター講師撮影）
- ・南極調査で使用した調査着・靴・道具など（亀井淳志総合理工学部教授所蔵）
- ・魚類やヒトデの液浸標本、貝やウミグモの乾燥標本、生物の写真（大谷修司教育学部教授所蔵）
- ・観測風景のビデオ（大谷修司教育学部教授・秋吉英雄生物資源科学部准教授・香月興太島根大学エスチュアリー研究センター講師所蔵）
- ・その他写真パネルなど

⑥令和元年度島根大学総合博物館アシカル企画展「東アジアと出雲」

主催 島根大学総合博物館

共催 島根大学古代出雲プロジェクトセンター

日時 令和2年2月26日（水）～4月11日（土） 10：00～17：00

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、4月3日（金）をもって展示中止。

場所 島根大学総合博物館アシカル

<主な展示物>

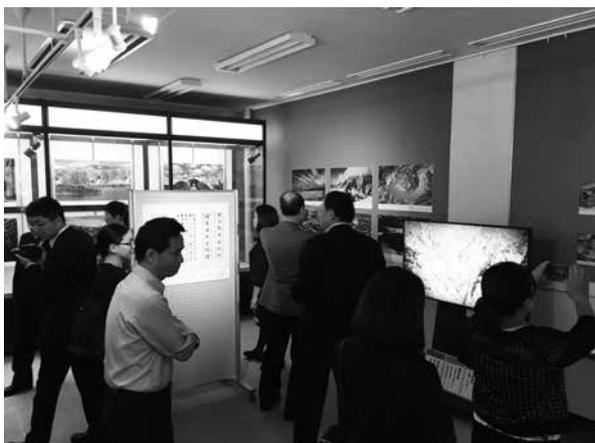
- ・イギリス海軍編纂「日本・朝鮮図」1863年：島根大学附属図書館所蔵
- ・西川津式（轟B式系）縄文土器（松江市島根大学構内遺跡）
- ・孔列文土器（松江市タテチヨウ遺跡）：島根県教育委員会所蔵
- ・無文土器（出雲市矢野遺跡）：出雲市所蔵
- ・無文土器（韓国）
- ・漢式土器：島根大学考古学研究室所蔵
- ・袋状鉄斧（出雲市杉沢Ⅱ遺跡）：出雲市所蔵
- ・後漢鏡（出雲市白枝荒神遺跡）：出雲市所蔵
- ・貨泉
- ・瓦質土器（松江市タテチヨウ遺跡）：島根県教育委員会所蔵
- ・陶質土器（出雲市上長浜貝塚）：出雲市所蔵
- ・陶質土器（韓国）
- ・瓦（松江市山代郷南新造院跡）：島根大学考古学研究室所蔵
- ・朝鮮陶磁器・中国陶磁器・宋銭ほか



平成 29 年度島根大学ミュージアム企画展「国引きジオパークは大地（知）のワンダーランド！」
島根半島の地形模型・岩石・化石・考古資料などを展示（H 29.7.22～9.3）



平成 30 年度島根大学総合博物館企画展「#カイジュウ展」
キタオットセイ標本・パネルなどを展示（H 30.7.20～9.1）



「島根県・中国寧夏回族自治区友好交流 25 周年記念写真展～寧夏の自然と歴史と暮らしと」
島根大学に表敬訪問された際に展示を見学される寧夏回族自治区政府の皆様（H 30.9.27）



入館者数 1 万人達成記念セレモニーで記念品を贈呈される服部泰直学長
1 万人目は、鳥取県倉吉北高校の高校生（H 30.11.21）

(4) 団体見学・キャンパスツアーなど

①団体見学・キャンパスツアー

内容 団体見学では、展示室に来館した見学者に分かりやすく展示解説した。また、松江キャンパス各所をめぐるキャンパスツアーは、下記の基本コースを案内した。

基本コース（約1時間半）

正門守衛室前集合

- ①国登録文化財「島根大学正門」・旧制松江高等学校石碑
- ②総合理工学部3号館1F研究紹介コーナー・3号館高層階からキャンパスや市街地を展望
- ③総合博物館本館（平成29年度はミュージアム本館）
- ④山陰地域資料展示室（平成29年度まで）
- ⑤附属図書館本館、大学ホールなど

平成29年度実績（学外団体のみ）

小鴨シニアクラブ、松江市立川津小学校児童100名、車尾公民館42名、鳥取県立日野高校、しまね潮風児童クラブ、倉吉市立西・東中学校、鳥取県立米子高校、島根県立松江南高校、ホームカミングデー・キャンパスツアー、フィリピン訪日団、タイ・チェンマイ大学訪日団、タイ・チェンマイ大学訪日団、島根町、東洋大学留学生18名、飯南町立頓原小学校児童26名

平成30年度実績（学外団体のみ）

松江市立川津小学校児童131名、三次市立君田中学校、韓国慶尚大学校、島根大学生物資源科学部保護者会、米子市老人会、島根県地学会、中国山東大学、鳥取県立米子高校、中国西北農林科技大学、島根県立江津高校、松江市立母衣小学校、中国寧夏回族自治区政府訪日団、山陰遺跡ネットワーク研修会、島根大学農学部1期生同窓会、島根県立松江南高校、松江市立川津小学校、島根県高文連自然科学専門部、鳥取県立倉吉東高校PTA、倉吉北高校、児童クラブ、大庭公民館、頓原公民館

平成31（令和元）年度実績（学外団体のみ）

米子市啓成公民館、島根大学OB、松江西高校、島大会員のつどい、松江市立川津小学校、米国アーカンソー大学、中国電力、サマースクール2019留学生、島根大学文理学部OB、台湾大学、児童クラブ、島根大学教職員児童会、中国寧夏回族自治区訪日団、島根県立浜田高校、島根県立江津高校、島根県立松江南高校理数科、松江市立川津小学校、出雲市斐川町寿昌クラブ、島根県立出雲農林高校、島根県高等学校理科教育協議会、島根県立松江農林高校、ベトナム・ノンラム大学評価 平成23年度以降、高大連携に伴う高校生団体の大学訪問や外国からの訪日団など、団体見学が増加傾向にある。

②島根大学オープンキャンパス企画「ミュージアム展示クイズに答えて島大グッズをゲットしよう！」

日時 平成29年8月5日（土）～6日（日） 9:00～16:30

平成30年8月4日（土）～5日（日） 10:00～17:00

令和元年8月1日（木）～2日（金） 10:00～17:00

場所 島根大学ミュージアム本館展示室(平成29年度)、島根大学総合博物館(平成30・令和元年度)

内容 展示を見学し、展示内容に係るクイズに答えてもらう。全問正解で島根大学オリジナルグッズを進呈。

評価 平成29年度は251名、平成30年度は454名、平成31（令和元）年度は398名の高校生などがクイズに取り組み、展示室を熱心に見学していただくことができた。

③学園祭企画「クイズに答えてミュージアムグッズをもらおう！」

日時 平成29年10月8日（日） 9:00～16:00、9日（月祝） 9:00～12:00

平成30年10月7日（日）～8日（月祝） 10:00～17:00

令和元年10月13日（日） 10:00～17:00、14日（月祝） 10:00～16:00

場所 島根大学ミュージアム本館展示室・山陰地域資料展示室（平成 29 年度）
島根大学総合博物館（平成 30・31（令和元）年度）

内容 展示を見学し、展示内容に係るクイズに答えてもらう。全問正解で島根大学オリジナルグッズを進呈。

評価 平成 29 年度は約 80 名以上、平成 30 年度は 179 名、平成 31（令和元）年度は 374 名の親子・児童などがクイズに取り組み、展示室を熱心に見学してもらうことができた。

（５）市民講座・フィールド体験ツアーなど

①市民講座・特別講座

■平成 29 年度第 1 ステージ「国引きジオパークを目指して！」（まつえ市民大学連携講座）

主催 島根大学ミュージアム・島根大学くにびきジオパークプロジェクトセンター

共催 まつえ市民大学

後援 国引きジオパーク推進協議会

対象 市民一般・高校生

場所 松江市市民活動センター 201・202 研修室（松江市白潟本町 43 番地・松江スティックビル）

内容 日本ジオパーク登録を目指している「国引きジオパーク（平成 29 年 12 月、島根半島・宍道湖中海ジオパークとして登録）」について学ぶ講座。

・「国引きジオパークって何？」（第 95 回）

講師 入月俊明（島根大学ミュージアム館長・島根大学総合理工学研究科教授）

日時 平成 29 年 5 月 13 日（土） 13：00～14：30

・「国引きジオパーク・カルチャーサイトを学ぶ」（第 96 回）

講師 会下和宏（島根大学ミュージアム教授・副館長）

日時 平成 29 年 6 月 10 日（土） 13：00～14：30

・「松江市内の国引きジオパーク・ジオサイトを学ぶ」（第 97 回）

講師 辻本 彰（島根大学教育学部講師）

日時 平成 29 年 7 月 1 日（土） 13：00～14：30

・「出雲市内の国引きジオパーク・ジオサイトを学ぶ」（第 98 回）

講師 野村律夫（島根大学名誉教授）

日時 平成 29 年 8 月 19 日（土） 13：00～14：30

評価 受講者数は、のべ 140 名。当該年度に日本ジオパークに登録された「国引きジオパーク（島根半島・宍道湖中海ジオパークに改称）」について、地元市民に啓発するうえで時宜を得た企画となった。

■平成 29 年度島根大学ミュージアム市民講座第 2 ステージ「隠岐学Ⅰ～先史時代から古代までの隠岐文化を学ぶ」（まつえ市民大学連携講座）

主催 島根大学ミュージアム・島根大学古代出雲プロジェクトセンター

共催 まつえ市民大学

対象 市民一般・高校生

場所 松江市市民活動センター 201・202 研修室（松江市白潟本町 43 番地・松江スティックビル）

内容 先史時代から独特の歴史・文化を育んできた隠岐諸島について、最新の調査研究成果をもとに学ぶ講座。

・「隠岐産黒曜石の化学分析－石器の原産地推定方法の確立－」（第 99 回）

講師 亀井淳志（島根大学大学院総合理工学研究科教授）

日時 平成 29 年 12 月 16 日（土） 13：00～14：30

・「隠岐諸島黒曜石原産地の開発・利用からみたアジア新人文化の起源と展開」（第 100 回）

講師 及川 穰（島根大学法文学部准教授）

日時 平成 30 年 1 月 6 日（土） 13：00～14：30

- ・「隠岐国の誕生と古墳」(第101回)
講師 内田律雄(島根県埋蔵文化財調査センター)
日時 平成30年3月10日(土)13:00～14:30
- ・「離島・隠岐の仏教文化ー隠岐国分寺を中心にー」(第102回)
講師 大橋泰夫(島根大学法文学部教授)
日時 平成30年3月17日(土)13:00～14:30

評価 受講者数は、のべ129名。隠岐諸島をテーマにした初めての講座となり、好評を得た。

■島根大学ミュージアム特別講座 in 広島 Part 3 「続・『古代出雲』文化へのいざない」

主催 島根大学ミュージアム・島根大学古代出雲プロジェクトセンター・島根大学広島オフィス

対象 市民一般・高校生

定員 110名

場所 広島市まちづくり市民交流プラザ・北棟5階 研修室A(広島市中区袋町6-36)

内容 平成25年度に島根大学ミュージアム特別講座 in 広島「出雲文化へのいざない」を開催した際、大変好評で再度の開催要望が多く寄せられたことから、パート2として企画。「古代出雲」をめぐる様々なトピックについて、島根大学教員・島根県職員が、リレー形式で分かりやすく講義。

- ・「『出雲国風土記』とホムチワケ伝承」(第1回)
講師 平石 充(島根県古代文化センター専門研究員)
日時 平成29年12月16日(土)13:30～15:30
- ・「掘り出された『出雲国風土記』の世界」(第2回)
講師 大橋泰夫(島根大学法文学部教授)
日時 平成30年1月27日(土)13:30～15:30
- ・「『出雲国風土記』と古代を探し求めた人々」(第3回)
講師 大日方克己(島根大学法文学部教授)
日時 平成30年2月17日(土)13:30～15:30

評価 受講申し込みが殺到するなど、広島での古代出雲に対する関心の高さがうかがえた。

■平成30年度 島根大学総合博物館市民講座第1ステージ「石見学IIー世界遺産・石見銀山とその周辺ー」(まつえ市民大学連携講座)

主催 島根大学総合博物館

共催 まつえ市民大学

対象 市民一般・高校生

場所 松江市市民活動センター 201・202 研修室(松江市白潟本町43番地・松江スティックビル)

内容 平成24年度に開講して好評だった「石見学」のパート2。2007年に世界遺産に登録されてから11年目となる「石見銀山」や近隣の江の川流域の歴史について改めて学ぶ講座。

- ・「江の川流域・三江線沿線の文化遺産」(第103回)
講師 会下和宏(島根大学総合博物館副館長・島根大学学術研究院人文社会科学系教授)
日時 平成30年6月9日(土)13:00～14:30
- ・「石見銀山をめぐる戦国争乱の実像」(第104回)
講師 長谷川博史(島根大学学術研究院教育学系教授)
日時 平成30年7月7日(土)13:00～14:30
- ・「石見銀山の開発とグローバル世界の誕生」(第105回)
講師 仲野義文(石見銀山資料館館長)
日時 平成30年8月4日(土)13:00～14:30
- ・「石見銀山の輝きの源を探る」(第106回)
講師 中村唯史(島根県立三瓶自然館学芸員)
日時 平成30年9月8日(土)13:00～14:30

評価 受講者数は、のべ126名。石見のたたら製鉄について学びたいという要望があったことから、

次年度の企画につなげることとした。

■平成 30 年度島根大学総合博物館市民講座第 2 ステージ「古代出雲と諸地域の交流を探る」(まつえ市民大学連携講座)

主催 島根大学総合博物館・島根大学古代出雲プロジェクトセンター

共催 まつえ市民大学

対象 市民一般・高校生

場所 島根大学教育推進センター I C T 演習室 (松江市西川津町 1060)

内容 弥生時代から平安時代までの出雲と列島他地域・大陸との交流について、歴史学・考古学の視点から考える講座。

・「弥生墳墓からみた出雲と諸地域の交流」(第 107 回)

講師 会下和宏 (島根大学総合博物館副館長・島根大学学術研究院人文社会科学系教授)

日時 平成 31 年 2 月 16 日 (土) 13:00 ~ 14:30

・「出雲に来た渤海人」(第 108 回)

講師 大日方克己 (島根大学学術研究院人文社会科学系教授)

日時 平成 31 年 3 月 9 日 (土) 13:00 ~ 14:30

・「古代製鉄からみた出雲と吉備」(第 109 回)

講師 角田徳幸 (島根県教育委員会・島根大学嘱託講師)

日時 平成 31 年 3 月 16 日 (土) 13:00 ~ 14:30

・「弥生時代の出雲と吉備の交流」(第 110 回)

講師 石田爲成 (岡山県教育委員会)

日時 平成 31 年 3 月 23 日 (土) 13:00 ~ 14:30

評価 受講者数は、のべ 125 名。古代出雲をテーマとした講座は人気が高く、毎回リピーターが多くみられた。

■令和元年度島根大学総合博物館市民講座第 1 ステージ「石見学Ⅲ～石見のこれまでとこれから」(まつえ市民大学連携講座)

主催 島根大学総合博物館

共催 まつえ市民大学

会場 島根大学大学教育センター・公開講座担当 I C T 演習室 (松江市西川津町 1060)

対象 市民一般・高校生

内容

・「石見の地質と化石」(第 111 回)

講師 入月俊明 (島根大学総合博物館館長・島根大学学術研究院環境システム科学系教授)

日時 令和元年 7 月 6 日 (土) 13:00 ~ 14:30

・「江戸時代『石見国絵図』を読み解く」(第 112 回)

講師 会下和宏 (島根大学総合博物館副館長・島根大学学術研究院人文社会科学系教授)

日時 令和元年 7 月 20 日 (土) 13:00 ~ 14:30

・「海のたたら、川のたたら～石見のたたら製鉄～」(第 113 回)

講師 角田徳幸 (島根県教育委員会・島根大学嘱託講師)

日時 令和元年 8 月 24 日 (土) 13:00 ~ 14:30

・「地図から読み解く石見の集落～なぜ石見は過疎発祥の地となったのか～」(第 114 回)

講師 作野広和 (島根大学学術研究院教育学系教授・島根大学総合博物館兼任研究員)

日時 令和元年 9 月 7 日 (土) 13:00 ~ 14:30

評価 受講者数は、のべ 102 名。県西部の大田市・浜田市からも参加があり、石見地域に対する関心の高さが窺えた。

■令和元年度島根大学総合博物館市民講座第 2 ステージ「ここまでわかった！！『出雲国風土記』

の世界」(まつえ市民大学連携講座)

主催 島根大学総合博物館・島根大学法文学部山陰研究センター「『出雲国風土記』の学際的研究」プロジェクト・島根大学古代出雲プロジェクトセンター

共催 まつえ市民大学

会場 島根大学大学教育センター・公開講座担当ICT演習室(松江市西川津町1060)

対象 市民一般・高校生

内容

・「出雲国風土記と神門郡」(第115回)

講師 平石 充(島根県教育委員会・島根大学法文学部山陰研究センター客員研究員)

日時 令和元年12月7日(土) 13:00～14:30

・考古学からみた出雲国神門郡・大原郡の官衙遺跡」(第116回)

講師 志賀 崇(雲南市教育委員会・島根大学法文学部山陰研究センター客員研究員)

日時 令和2年1月25日(土) 13:00～14:30

・発見!古代の山陰道ー出雲市杉沢遺跡の調査を中心にー」(第117回)

講師 江角 健(出雲市文化財課・島根大学法文学部山陰研究センター客員研究員)

日時 令和2年2月15日(土) 13:00～14:30

・考古学からみた『出雲国風土記』研究最前線」(第118回)

講師 大橋泰夫(島根大学学術研究院人文社会科学系教授・島根大学古代出雲プロジェクトセンター長・島根大学総合博物館兼任研究員)

日時 令和2年3月14日(土) 13:00～14:30

(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)

評価 受講者数は、のべ120名。古代出雲をテーマとした講座は人気が高く、毎回リピーターが多くみられた。

②フィールド体験ツアー

目的 フィールド体験ツアーは、豊かで多様性のある島根県内の自然・歴史・文化資源をフィールドミュージアムにみたくて、島根大学所有のバスを活用して現地に訪れ、見学する企画である。県内に埋もれた地域資源を再発見してもらうことを目的としている。例年、島根大学公開講座の一環として実施している。

■島根大学公開講座・第13回島根まるごとミュージアム体験ツアー「ローカル鉄道『木次線』で巡る斐伊川流域の地域遺産」

日時 平成29年4月22日(土) 9:00～17:00

講師 会下和宏(島根大学ミュージアム教授)

対象 30名

内容 斐伊川に沿って走る「木次線」とバスに乗って博物館や歴史的景観が残る町を訪ね、流域の自然・歴史・文化を学ぶ。

9:00 島根大学 発(貸切バス)

10:30 奥出雲たたらと刀剣館 見学

11:10 雲州そろばん伝統産業会館 見学

11:40 横田の宿場町歩き

12:10 横田駅前出雲蕎麦試食

13:09 出雲横田駅 発(木次線乗車)

14:33 備後落合駅 着

14:41 備後落合駅 発

15:48 出雲横田駅 着

17:20 松江駅・島根大学 着(貸切バス)

評価 参加者は30名。奥出雲町の博物館、奥出雲町横田の町並みなどを見学し、「3段式スイッ

チバック」のある木次線に乗車するなど、五感で学べる公開講座となった。

■島根大学公開講座・第14回島根まるごとミュージアム体験ツアー「佐太大神ゆかりの地と島根半島・宍道湖中海ジオパークをめぐる」

日時 平成30年7月14日(土) 9:00～13:00

講師 会下和宏(島根大学総合博物館教授)

対象 30名

内容 佐太大神ゆかりの地である海蝕洞窟「加賀潜戸」や佐太神社、関連する博物館をバスや船でめぐる。島根半島・宍道湖中海ジオパークにも登録されている松江市島根町・鹿島町の自然・歴史・文化について、現地をまわりながら学ぶ。

9:00 島根大学発

9:20 島根町・加賀神社(佐太大神の母神・キサカ姫を祀る神社)見学

9:30 マリンプラザしまね内島根半島・宍道湖中海ジオパークビジターセンター 見学

10:20 遊覧船で佐太大神が生まれた加賀潜戸 見学

11:30 鹿島町・佐太神社(佐太大神を祀る神社) 見学

11:40 鹿島歴史民俗資料館 見学

12:20 島根大学 着(島根大学総合博物館見学後、自由解散)

評価 参加者は30名。遊覧船による海食洞窟の見学が非日常的な体験となり、好評だった。

■島根大学公開講座・第15回島根まるごとミュージアム体験ツアー「出雲の石・銅・鉄文化の地を巡る」

日時 令和元年10月19日(土) 9:00～15:30

講師 会下和宏(島根大学総合博物館教授)

対象 30名

内容 人類の様々な道具の材料として古代から使用されてきた石・銅・鉄。ツアーでは、出雲地域にある石・銅・鉄文化に関わる遺跡やミュージアムをバスで巡って、それらの歴史について学ぶ。

9:00 島根大学 発

9:30 モニュメントミュージアム来待ストーン 見学

11:00 国史跡・荒神谷遺跡・荒神谷博物館 見学

13:00 国史跡・田儀桜井家たたら製鉄遺跡 見学

15:30 島根大学 着(島根大学総合博物館見学後、自由解散)

評価 参加者は30名。雨天のなかだったが、田儀桜井家たたら製鉄遺跡の雰囲気が高く、好評を得た。

③親子で学ぶ子どもミュージアム体験教室(小学生向け企画)

目的 子どもミュージアム体験教室は、島根大学がもつ研究機器や機材を活用して、小中学生向けに様々なミュージアム体験をしてもらうミュージアム・スタート活動である。児童・生徒たちに、島根大学でどんな研究をしているのか、大学内部の研究施設がどうなっているのかについて理解してもらうことで、将来的な島根大学進学への動機付けにってもらうこともねらいとしている。

■夏休み子どもミュージアム体験教室「回転の不思議と仕組みを体験しよう！」

日時 平成29年7月29日(土) 9:30～11:00

講師 田村晋司(島根大学総合理工学研究科講師)

対象 小学生3～6年生の親子10組

内容 ボールベアリングという部品を使ってハンドスピナーを製作する。

評価 参加者は20名。夏休みの自由研究・自由制作のニーズに応える企画となった。

■春休み子どもミュージアム体験教室「こころを表現するー親子でコラージュ療法を体験しよう

ー」

日時 平成30年3月31日(土) 13:00～14:30

講師 長谷川千紘(島根大学人間科学部人間科学科講師)・高橋朋子(松江総合医療専門学校非常勤講師)

対象 小学生3～6年生の親子20組

内容 素材を切り貼りして一つの作品を作りあげる「コラージュ」という方法でこころを表現する。

評価 参加者は40名。新聞・テレビ報道がなされた。

■冬の子どもミュージアム体験教室「チョコレートで化石のレプリカを作ろう！」

日時 平成31年2月2日(土) 10:00～12:00

場所 島根大学総合博物館(松江市西川津町1060)

講師 入月俊明(島根大学総合博物館館長・学術研究院環境システム科学系教授)

対象 小学4～6年生と保護者20組

内容 バレンタインデーにあわせて、チョコレートで化石・土偶のレプリカを製作。

評価 参加者は40名。参加申込みが殺到するなど、バレンタインデーの時宜を得た企画となった。新聞報道がなされた。

■夏休み子どもミュージアム体験教室「顕微鏡を使って池の水からゾウリムシを見つけよう！」

日時 令和元年8月7日(水) 13:00～15:00

場所 島根大学総合博物館(松江市西川津町1060)

講師 石田秀樹(島根大学学術研究院農生命科学系准教授)

対象 小学4～6年生と保護者10組

内容 島根大学松江キャンパスの池の水を顕微鏡でのぞき、ゾウリムシを見つける。簡単な実験をおこなって、ゾウリムシの泳ぎ方、エサの取り方を観察する。

評価 参加者は20名。夏休みの自由研究のニーズに応える企画となった。

■冬の子どもミュージアム体験教室「チョコレートで化石・土偶のレプリカを作ろう！」

日時 令和2年2月11日(火祝) 10:00～12:00

場所 島根大学総合博物館(松江市西川津町1060)

講師 入月俊明(島根大学総合博物館館長)・古澤明輝(島根大学総合理工学研究科大学院生)・会下和宏(島根大学総合博物館副館長)

対象 小学4～6年生と保護者20組

内容 バレンタインデーにあわせて、チョコレートで化石・土偶のレプリカを製作。



第109回市民講座「古代製鉄からみた出雲と吉備」
(H 31.3.16)



冬の子どもミュージアム体験教室「チョコレートで化石のレプリカを作ろう！」(H 31.2.2)

評価 参加者は40名。参加申込みが殺到するなど、バレンタインデーの時宜を得た企画となった。
新聞・テレビ報道がなされた。

④その他

下記の普及啓発活動について共催・後援した。

■島根大学法文学部山陰研究センターシンポジウム「地域とつながる人文学の挑戦—山陰の文学・歴史学・考古学研究から考える—」

主催 島根大学法文学部山陰研究センター・島根大学古典籍アカデミー・島根大学ミュージアム・島根大学附属図書館

共催 島根大学地域未来戦略センター

日時 平成29年7月16日(日) 13:30-16:30

場所 島根大学・大学会館大集会室(松江市西川津町1060)

■平成29年度島根大学くにびきジオパークプロジェクトセンター第1回探訪会「佐太大神の足跡を訪ねるツアー」

主催 島根大学くにびきジオパークプロジェクトセンター

共催 国引きジオパーク推進協議会・島根大学ミュージアム

日時 平成29年9月30日(土) 9:30~15:00

■平成29年度島根大学くにびきジオパークプロジェクトセンター第2回探訪会「国引きジオパーク構想南部丘陵山地のジオと文化を巡る旅」

主催 島根大学くにびきジオパークプロジェクトセンター

共催 国引きジオパーク推進協議会・島根大学ミュージアム

後援 モニュメントミュージアム来待ストーン

日時 平成29年11月26日(日) 9:00~15:30

■平成29年度島根半島・宍道湖中海ジオパークシンポジウム「日本列島の成り立ちと島根半島・宍道湖中海ジオパークを知ろう！」

主催 島根大学くにびきジオパークプロジェクトセンター、島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会

後援 島根大学戦略的研究推進センター・島根大学大学院総合理工学研究科地球資源環境学領域・島根大学ミュージアム・モニュメントミュージアム来待ストーン・中国地質調査業協会島根県支部・島根県地学会

日時 平成29年3月18日(日) 13:00~16:30

場所 くにびきメッセ・小ホール(松江市学園南1丁目2-1)

■島根大学ジオパークプロジェクトセンター平成30年度第1回探訪会「猪目洞窟周辺のジオと古代人の生活！」

主催 島根大学ジオパークプロジェクトセンター

共催 島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会・島根大学総合博物館

日時 平成30年10月27日(土) 9:30~16:30

■島根大学ジオパークプロジェクトセンター平成30年度第2回探訪会「晩秋の華蔵寺と大根島」

主催 島根大学ジオパークプロジェクトセンター

共催 島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会・島根大学総合博物館

日時 平成30年11月11日(土) 9:30~16:30

■平成 30 年度島根大学ジオパークプロジェクトセンターシンポジウム「島根半島・宍道湖中海ジオパークのジオツアーの魅力」

主催 島根大学ジオパークプロジェクトセンター
共催 島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会
後援 島根大学総合博物館・小泉八雲記念館・島根半島四十二浦再発見研究会
日時 平成 31 年 3 月 17 日（日） 13：30～16：30
場所 松江テルサ（松江市朝日町 478 - 18）

■島根大学ジオパークプロジェクトセンター令和元年度第 1 回探訪会「玉造温泉と花仙山周辺のジオと人々の生活」

主催 島根大学ジオパークプロジェクトセンター
共催 島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会・島根大学総合博物館
後援 島根県地学会
日時 令和元年 11 月 16 日（土） 9：30～16：00

（6）インターネットを活用した情報発信

①「島根大学標本資料類データベース」のデータ登録・公開

本データベースは、平成 23 年度島根大学政策配分経費（重点プロジェクト経費＜教育改革推進経費＞）をもとにシステム構築を行ったもので、総合大学である島根大学が収集してきた植物・藻類・動物・昆虫・化石・鉱物・岩石・理工系・美術・考古・民俗・記録史料・写真など、様々な分野の標本資料類を収載している。平成 29～31 年度も引き続き、昆虫標本を中心とした標本資料類のデータ登録を行った。

- ・登録数 7,987 件
- ・閲覧回数 29 万 4,846 回（平成 24 年 1 月 12 日～令和 2 年 3 月 31 日）
- ・URL <http://museum-database.shimane-u.ac.jp/specimen/>

②「島根県遺跡データベース」のシステム再構築・データ登録・公開

本データベースは、平成 14 年度文部科学省地域貢献事業によって島根大学地域貢献協議会が制作した「古代出雲遺跡データベース」を平成 15 年度文部科学省地域貢献事業によって改修発展させたもので、その後は島根大学ミュージアム（島根大学総合博物館）が追加データを登録するなどして運用してきた。

しかし、平成 28 年度、データベースのプログラムに脆弱性が指摘されたため、平成 29 年度島根大学戦略的機能強化推進経費の配分を受けて、半年かけてシステムの再構築をはかった。平成 30 年 3 月末に作業を完了し、平成 30 年 4 月から一般公開を再開した。

本データベースは、島根県内の遺跡・遺構・遺物・遺跡調査・遺跡文献について網羅的に検索することができる。また、文献データは、奈良文化財研究所が運用する全国遺跡報告総覧にリンクが張られており、最終的に PDF データまでたどり着くことができる。

平成 29～31 年度は、平成 30 年 3 月までに刊行された遺跡発掘調査報告書のデータを整理し、データベースに収載した。令和 2 年 3 月 31 日時点で、105 万 6,780 回のアクセス数をカウントしており、使用頻度はきわめて高い。

- ・遺跡データ 11,459 件・遺構データ 9,019 件・遺物データ 11,611 件・調査データ 2,871 件・文献データ 2,361 件
- ・URL <http://iseki.shimane-u.ac.jp/>
- ・アクセス回数 105 万 6,780 回（平成 15 年 3 月 31 日～令和 2 年 3 月 31 日、「古代出雲遺跡データベース」公開以来の累計数）

6 本学構内の埋蔵文化財の取扱い

(1) 構内座標

松江キャンパス内では、以下の通り、構内座標を設定している。すなわち、世界測地系・平面直角座標系Ⅲの南北・東西軸座標値 ($X = -55,900 \text{ m}$ 、 $Y = 81,500 \text{ m}$) を原点とし、同座標軸から南北軸を $N - 10^\circ - W$ に振ったラインを構内座標南北軸とする (図4)。

そして、この構内座標軸を基準に1辺4mのグリッドを設定する。原点を通る東西ラインをAA、それより南へ4mごとの東西ラインをAB・AC……AZ・BA・BB……、また原点を通る南北ラインを00、それより東へ4mごとの南北ラインを01・02・03……、と呼称する (図4)。

さらに、これらのラインによって形成される4m四方のグリッド名は、その北西コーナーで交わる東西・南北ライン名を組み合わせると呼称する。例えば、東西のAAラインと南北の00ラインが交わった点を北西コーナーとするグリッドはAA00グリッド、東西のABラインと南北の01ラインが交わった点を北西コーナーとするグリッドはAB01グリッドと呼称することになる。遺物の取り上げをはじめとした調査記録に際しては、このグリッド名を用いている。

(2) 島根大学構内遺跡第22次発掘調査 (諸田地区5)

調査主体 島根大学総合博物館

所在場所 島根県松江市西川津町1060 (旧字名：諸田) 島根大学松江キャンパス (図4・5)

構内座標：HU～ID・51～57

調査略号 19S-22

調査原因 島根大学次世代たたら協創センター建設工事

調査面積 780 m²

調査期間 令和元年5月27日～8月27日

調査経過

(南区)

5月27日～31日 近現代盛土重機掘削

6月4日～13日 第1層掘り下げ

6月10日～13日 第2層掘り下げ

6月17日～20日 第3層掘り下げ

6月19日～28日 第4a層掘り下げ

6月24日～7月3日 第4b層掘り下げ

7月4日 全景写真 (南から)、南壁写真 (北東から)

7月5日～9日 南壁・東壁断面図作成

7月9日 土壌サンプル採取、現地検討会開催、南区終了

(北区)

7月12日～17日 近現代盛土重機掘削

7月22日～29日 第1層掘り下げ

7月25日～31日 第2層掘り下げ

7月30日～8月1日 第3層掘り下げ

8月1日～7日 第4a層掘り下げ

8月8日～19日 第4b層掘り下げ

8月22日 全景写真 (南東から)、東壁写真 (南西から)

8月23日～25日 東壁断面図作成、土壌サンプル採取

8月27日 土壌サンプル採取、現地検討会開催

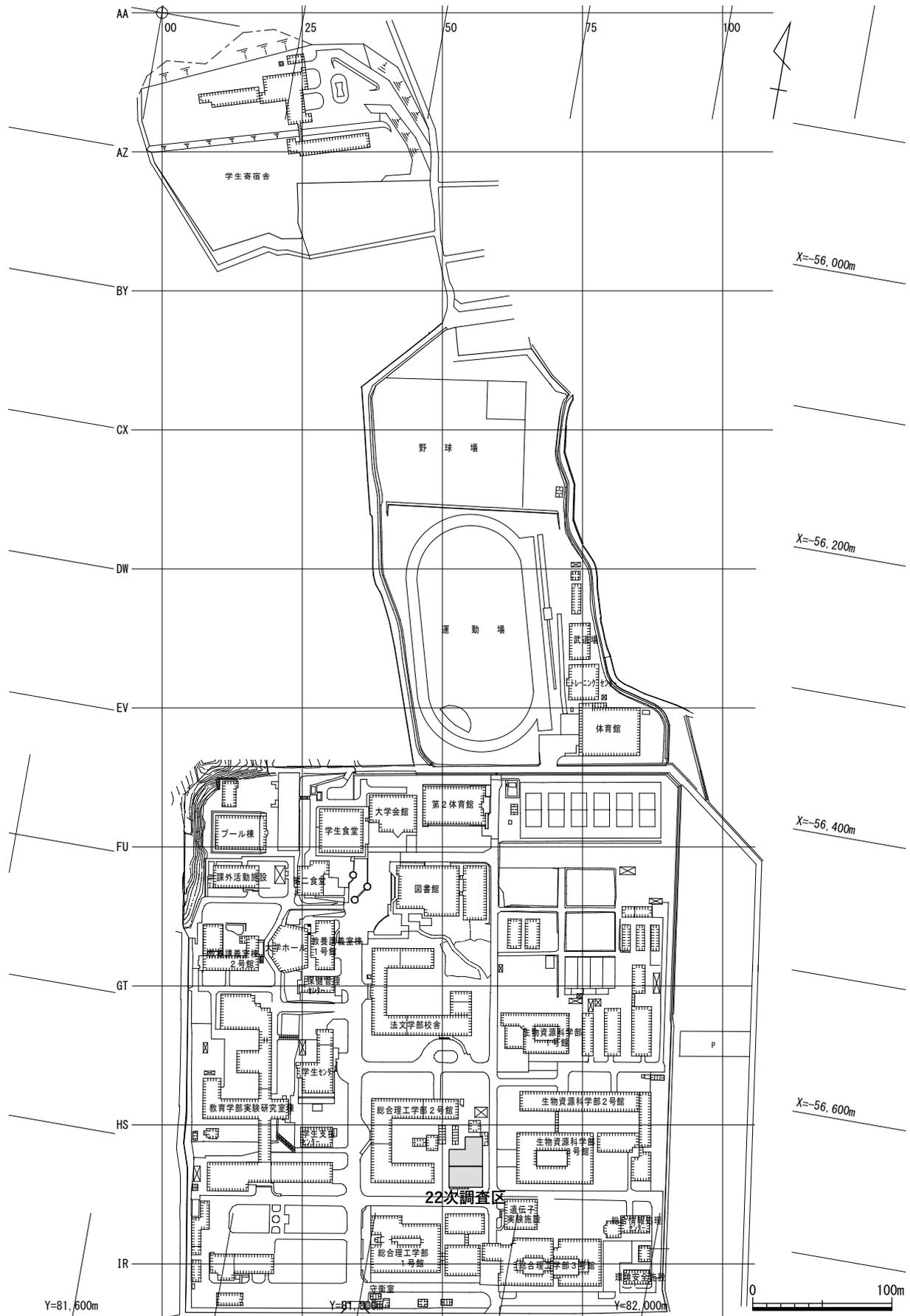


図4 第22次調査区位置図 (その1、1/4,000)

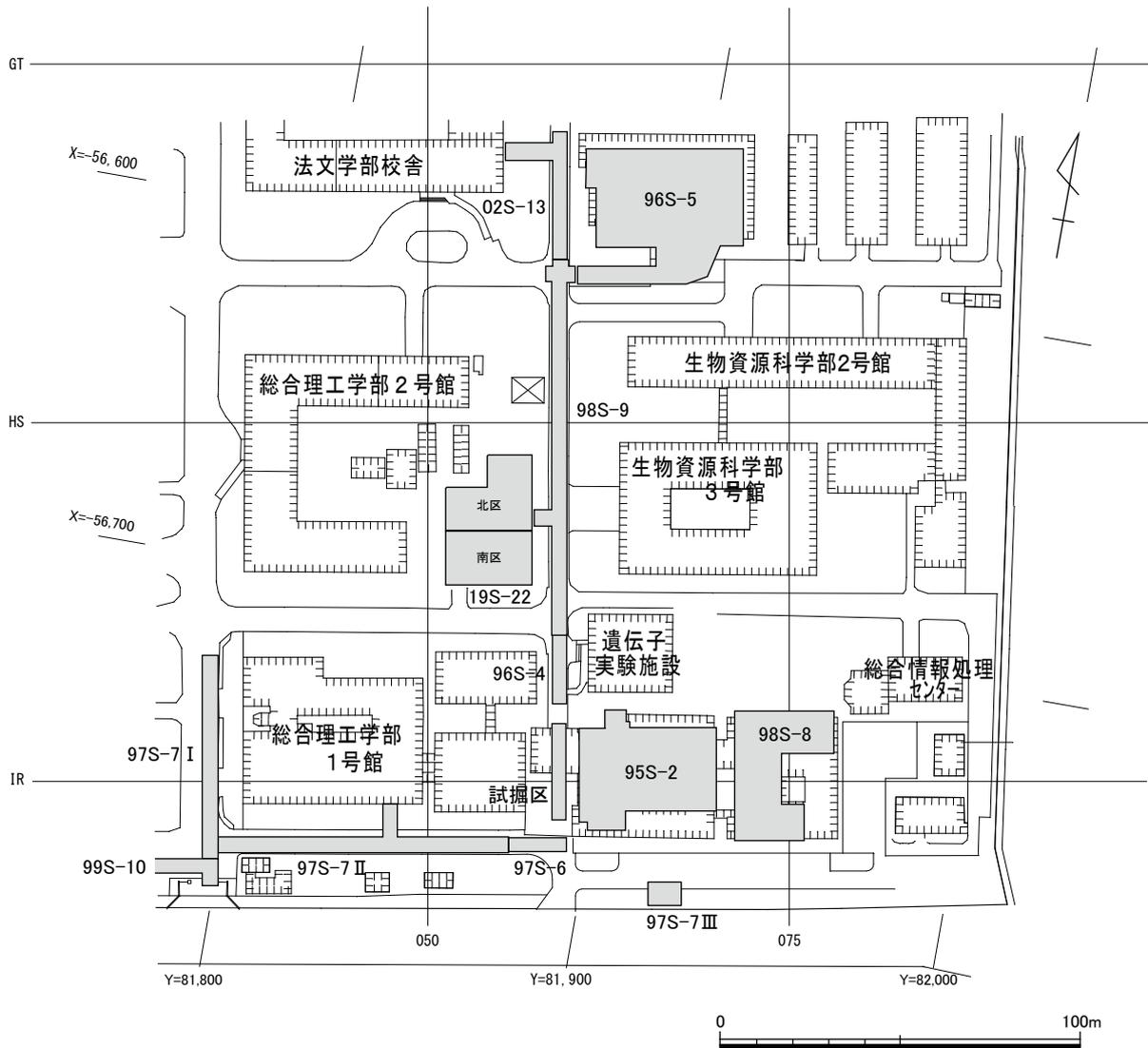


図5 第22次調査区位置図(その2、1/2,000)

基本層位・出土遺物

表6 基本層位など(南区、図6)

層名	標高 (m)	層相	出土遺物	時期
第1層	0.7 ~ 1.1	しまった暗灰黄色粘土 (近代水田耕作土)	須恵器・石錘	近代
第2a層	0.7 ~ 0.85	灰色粘土	須恵器(奈良)	古墳終末~奈良
第2b層		黒色粘土		
第3a層	0.2 ~ 0.7	黒褐色細砂(離水した 砂底潮間帯~潮上帯砂 洲層(土壌化、生物攪乱 顕著))		縄文後期~
第3b層		黄褐色細砂(離水した 砂底潮間帯~潮上帯砂 洲層、一部に斜行葉理 挟在、生物攪乱顕著)		
第4a層	-0.4 ~ 0.3	灰色細砂(砂洲層、斜行 葉理挟在)		縄文後期~
第4b層	~-0.1	オリーブ黒色シルト(内 湾の海成層、標高約- 2.59 mにアカホヤ火山 灰。上部に葉理挟在)	流木・死滅シジミ	~縄文前期~縄文後期 (4137 ± 36yBP)

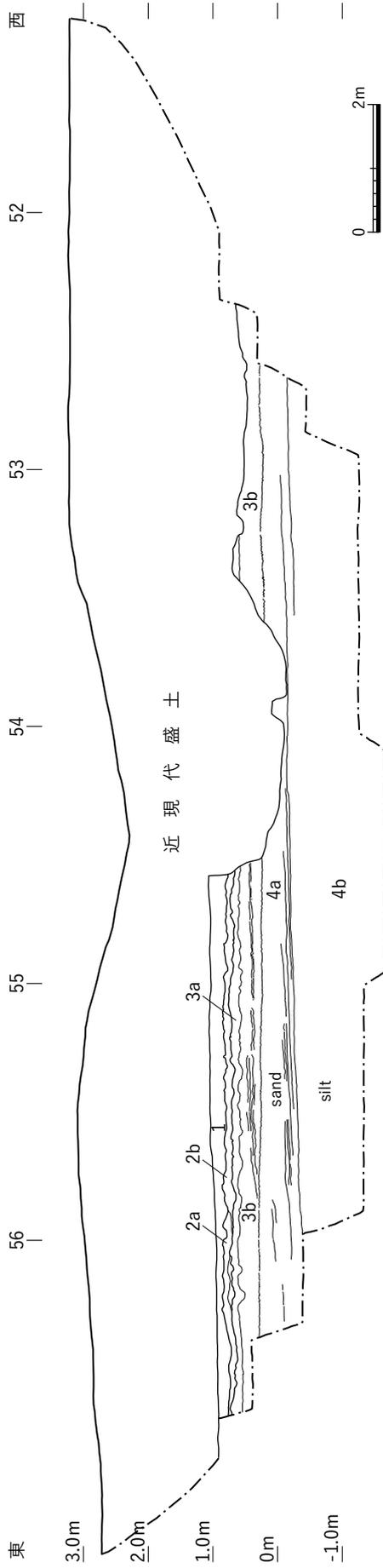


图6 南区南壁断面图 (1/100)

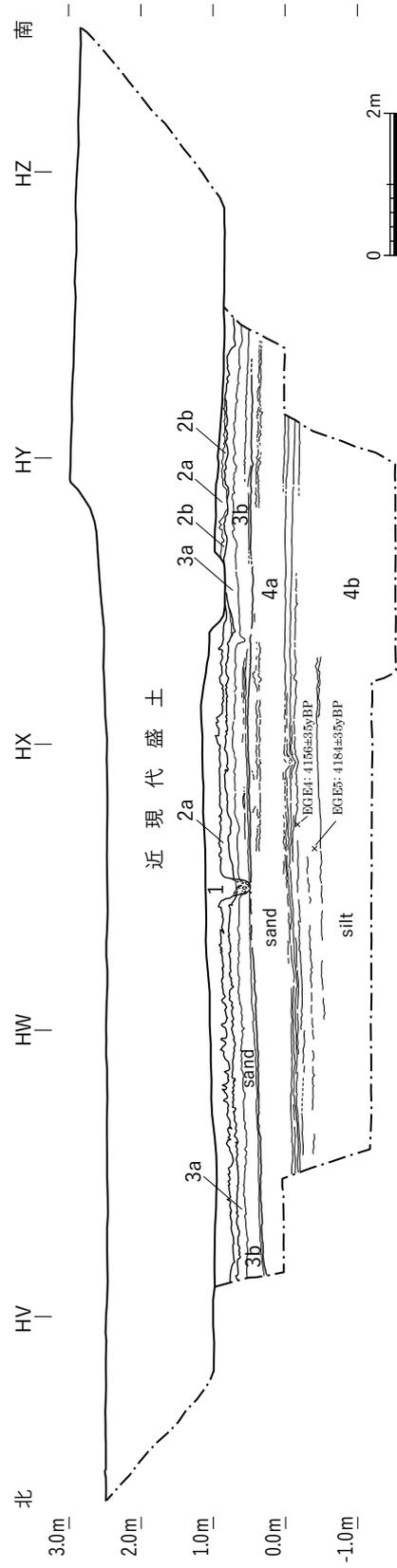


图7 北区东壁断面图 (1/100)

表7 基本層位など（北区、図7）

層名	標高 (m)	層相	出土遺物	時期
第1層	0.7 ~ 1.2	しまった暗灰黄色粘土 (近代水田耕作土)	陶磁器・須恵器	近代
第2a層	0.7 ~ 1.0	灰色粘土	須恵器(古墳終末期)	古墳終末~奈良
第2b層		黒色粘土		
第3a層	0.5 ~ 0.8	黒褐色細砂(離水した 砂底潮間帯~潮上帯砂 洲層(土壌化、生物攪乱 顕著))	炭化した材	縄文後期~
第3b層	0.3 ~ 0.7	黄褐色細砂(離水した 砂底潮間帯~潮上帯砂 洲層、一部に葉理挟在、 生物攪乱顕著)		縄文後期~
第4a層	-0.2 ~ 0.5	灰色細砂(砂洲層、葉理 挟在)		縄文後期~
第4b層	~ 0	オリブ黒色シルト(内 湾の海成層、標高約- 2.59 mにアカホヤ火山 灰。上部に葉理挟在)	焦痕のある材、礫・ 死滅シジミ	~縄文前期~縄文後期 (4156 ± 35yBP)

表8 ¹⁴C年代測定値

試料名	測定機関 番号	種類	調査 区	Grid	出土 層位	出土標高 (m)	採取年月日	炭素 14 年代	校正年代	確率	備考
EGE-1	AA114228	材	南区	IA53	第4b層	-0.5	20190709	4137 ± 36yBP	2864 calBC - 2632 calBC 2874 calBC - 2587 calBC	68% 95%	
YS-11	AA114233	葉	南区	IB54	第4b層	-0.51	20190709	4179 ± 35yBP	2880 calBC - 2696 calBC 2888 calBC - 2636 calBC	68% 95%	
YS-12	AA114234	葉	南区	IB54	第4b層	-0.61	20190709	4440 ± 36yBP	3321 calBC - 3018 calBC 3332 calBC - 2929 calBC	68% 95%	
EGE-2	AA114229	材	南区	IA53	第4b層	-0.9	20190709	4476 ± 36yBP	3331 calBC - 3093 calBC 3343 calBC - 3027 calBC	68% 95%	
YS-9	AA114240	貝	南区	IB54	—	-4.06 ~ -4.21	20190709	7164 ± 53yBP	5725 calBC - 5626 calBC 5805 calBC - 5584 calBC	68% 95%	コア試料
YS-10	AA114241	貝	南区	IB54	—	-4.425 ~ -4.435	20190709	7387 ± 44yBP	5965 calBC - 5859 calBC 5997 calBC - 5793 calBC	68% 95%	コア試料
EGE-4	AA114230	材	北区	HW56	第4b層 (最上部)	-0.17	20190827	4156 ± 35yBP	2871 calBC - 2676 calBC 2880 calBC - 2626 calBC	68% 95%	炭化
EGE-5	AA114231	材	北区	HW56	第4b層	-0.41	20190827	4184 ± 35yBP	2881 calBC - 2697 calBC 2890 calBC - 2636 calBC	68% 95%	炭化
YS-6	AA114238	木片	北区	HV55	第4b層	-0.52	20190827	4211 ± 50yBP	2898 calBC - 2698 calBC 2910 calBC - 2632 calBC	68% 95%	
EGE-6	AA114232	材	北区	HX55	第4b層	-0.79	20190809	4488 ± 36yBP	3333 calBC - 3100 calBC 3348 calBC - 3032 calBC	68% 95%	炭化
YS-7	AA114239	ヨシ or 枝	北区	HV55	第4b層	-0.97	20190827	4066 ± 35yBP	2834 calBC - 2497 calBC 2853 calBC - 2487 calBC	68% 95%	
YS-1	AA114235	葉	北区	HW55	第4b層	-1.52	20190827	1415 ± 33yBP	611 calAD - 654 calAD 578 calAD - 665 calAD	68% 95%	コア試料 異常値か
YS-4	AA114236	木片	北区	HW55	第4b層	-1.72	20190827	2921 ± 34yBP	1192 calBC - 1052 calBC 1217 calBC - 1013 calBC	68% 95%	コア試料 異常値か
YS-5	AA114237	ヨシ	北区	HW55	第4b層	-1.92	20190827	3984 ± 79yBP	2620 calBC - 2347 calBC 2859 calBC - 2213 calBC	68% 95%	コア試料

特記事項

本調査区では、縄文時代の古宍道湾(湖)最奥部に堆積した海成層(第4層)・砂洲層(第3層)・アカホヤ火山灰層⁽¹⁾などを検出し、¹⁴C年代測定⁽²⁾(表8)によって堆積年代をおさえることで、構内の旧地形・古環境変遷を復元するための手がかりが得られた。すなわち、縄文早期から後期にかけて、古宍道湾(湖)奥部だった調査区内は、海面低下や海成層の堆積によって浅海化し、縄文後期頃には沿岸流によって西側から東側に伸長する砂洲堆積物(第4a層)が斜行堆積していく。さらに、その上位には離水した砂底潮間帯~潮上帯の砂洲堆積物(第3層)が堆積する。

縄文後期以前における内湾泥底堆積物(第4b層)からは、焦痕のある材、遺棄された礫などが出土しており、当時の水域における人間活動を示している。第4層の上位に重なる第3層の砂洲層からは、本調査区南東側の第2・8次調査区(現・総合理工学部3号館)において、縄文晩期頃の

土器・石鏃などが出土しており⁽³⁾、潮間帯ないし離水した水辺の陸域を舞台に人類活動がなされていたことが分かる。

今後は、微化石分析⁽⁴⁾、堆積物の粒度・化学分析なども行い、また周辺の既往調査区での成果もあわせて、構内の古地形・古環境変遷と人類活動の内容について復元を進めていきたい。

注

- (1) アカホヤ火山灰の同定については、島根大学エスチュアリー研究センター・香月興太講師の協力を得て、(株)京都フィッシュン・トラックにおいて行った。
- (2) ¹⁴C年代測定については、島根大学エスチュアリー研究センター・齋藤文紀教授およびアリゾナ大学・Dettman 博士の協力を得て、アリゾナ大学で測定した。
- (3) 会下和宏・中村唯史『島根大学構内遺跡第2・4・8次調査(諸田地区1・2・3)』島根大学埋蔵文化財調査研究報告第5冊、島根大学埋蔵文化財調査研究センター、1999
- (4) 微化石分析については、当館館長の島根大学総合理工学部・入月俊明教授が分析中である。

(3) 島根大学構内遺跡第15～22次発掘調査、寿昌寺西遺跡第1次発掘調査の整理・

研究

上記調査のほか、平成18年度実施の島根大学構内遺跡第15次発掘調査、平成19年度実施の同遺跡第16次発掘調査、平成20年度実施の同遺跡第17次発掘調査、平成21年度実施の同遺跡第18次発掘調査、平成24年度実施の同遺跡第19次発掘調査、平成25年度実施の寿昌寺西遺跡第1次発掘調査などの出土遺物実測・トレース、遺構図面トレース、出土材化石のプレパラート標本化といった室内整理作業を進めた。

(4) 『寿昌寺西遺跡第1次調査』島根大学埋蔵文化財調査研究報告第10冊の刊行

平成25年度までに出雲キャンパスで実施した試掘調査および寿昌寺西遺跡第1次発掘調査の成果報告書を刊行した。

7 島根大学旧奥谷宿舎（総合博物館分館）の活用

島根大学旧奥谷宿舎（総合博物館分館）は、1924（大正13）年11月竣工の旧制松江高等学校外国人教師（独語教師）宿舎で、国登録有形文化財にも登録されている。平成21年10月に修復工事を終え、サテライトミュージアムとしてオープン、令和元年10月で10周年を迎えた。

平成29～31年度も引き続き、1階常設展示室では、「写真が語る島根大学の歴史と旧奥谷宿舎」を一部展示替えしつつ開催したほか、1階多目的室を中心に総合博物館による企画展示などを行った。このほか、地域貢献事業の一環として、学内外団体との共催による様々なイベント（作品展など）を開催し、持続的に集客できる施設にするよう努めた。

①展示活動

- ・島根大学版画教室と公開講座リトグラフ版画の作品展示「松江ゆかりの石版画」展（サークル主催、平成29年5月13日（土）～7月2日（日））
 - ・平成29年度島根大学ミュージアム企画展「”国引きジオパーク”は大地のワンダーランド！」（島根大学ミュージアム主催、平成29年7月22日（土）～9月3日（日））
 - ・写真展「夢に見た景色を探す旅展2017」（個人主催、平成29年9月23日（土）～9月24日（日））
 - ・写真展「まちなこ美術館 in 松江」（学外団体主催、平成29年9月30日（土）～12月24日（日））
 - ・写真展「まちなこ美術館 in 松江 2018 春 私的猫 ～ワタシニトッテノネコ～」（学外団体主催、平成30年2月24日（土）～4月22日（日））
 - ・平成30年度島根大学ミュージアム企画展「旧制松江高校独語教師・フリッツ・カルシュ博士生誕125年記念写真展 四ツ手網の記憶」（島根大学ミュージアム主催、平成30年4月28日（土）～7月1日（日））
 - ・50歳記念まるい美術展（個人主催、平成30年7月21日（土）～8月26日（日））
 - ・写真展「まちなこ美術館 in 松江 2018 秋」（学外団体主催、平成30年9月15日（土）～11月25日（日））
 - ・佐陀ハウスギャラリー 堀眺 絵画・彫刻・陶芸・考古資料展（個人主催、平成31年3月2日（土）～31日（日））
 - ・写真展「【Happy?】まちなこ美術館 in 松江 2019」（学外団体主催、令和元年10月5日（土）～12月1日（日））
 - ・写真展「【Innocent】まちなこ美術館 in 松江 2020」（学外団体主催、令和2年2月8日（土）～4月5日（日））
- ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、3月29日（日）までで展示中止。

②授業での活用

- ・平成29年10月31日（金） 島大ミュージアム学（教養科目）
- ・平成30年11月2日（金） 島大ミュージアム学（教養科目）
- ・令和元年10月25日（金） 地域博物館へのいざない（教養科目）



島根大学旧奥谷宿舎

(H 30.11.2)



写真展「まちなこ美術館 in 松江」

(H 29.9.28)

8 マスコミ報道状況

- ・平成 29 年 7 月 31 日 中国新聞「「ジオパーク」PR 岩石など展示」（島根大学ミュージアム企画展「“国引きジオパーク”は大地（知）のワンダーランド！」）
- ・平成 29 年 9 月 22 日 山陰中央新報「山陰両県 3 8 市町村 夢の景色 現地女性モデルに撮影行脚」（写真展「夢に見た景色を探す旅展 2017」）
- ・平成 29 年 12 月 17 日 読売新聞「黒曜石化学分析・亀井教授が講演」（第 99 回島根大学ミュージアム市民講座「隠岐産黒曜石の化学分析－石器の原産地推定方法の確立－」）
- ・平成 30 年 1 月 12 日 産経新聞「隠岐の黒曜石テーマに島根大・及川准教授が講演 原産地遺跡発見の意義強調」（第 100 回島根大学ミュージアム市民講座「隠岐諸島黒曜石原産地の開発・利用からみたアジア新人文化の起源と展開」）
- ・平成 30 年 3 月 20 日 読売新聞「隠岐の仏教文化発掘調査など解説」（第 102 回島根大学ミュージアム市民講座「離島・隠岐の仏教文化－隠岐国分寺を中心に－」）
- ・平成 30 年 4 月 3 日 山陰ケーブルテレビジョン・マーブル 番組名「まるまる松江」（春休み・子どもミュージアム体験教室「こころを表現する－親子でコラージュ療法を体験しよう－」）
- ・平成 30 年 4 月 3 日 中国新聞「新しい自分発見 コラージュ療法 松江で親子体験会」（春休み・子どもミュージアム体験教室「こころを表現する－親子でコラージュ療法を体験しよう－」）
- ・平成 30 年 4 月 12 日 山陰中央新報「松江で写真展『まちねこ美術館』」（写真展「まちねこ美術館 in 松江 2018 春 私的猫～ワタシニトッテノネコ～」）
- ・平成 30 年 4 月 24 日 山陰中央新報「平成 30 年度島根大学ミュージアム企画展「旧制松江高校独語教師・フリッツ・カルシュ博士生誕 125 年記念写真展 四ツ手網の記憶」（平成 30 年度島根大学ミュージアム企画展「旧制松江高校独語教師・フリッツ・カルシュ博士生誕 125 年記念写真展 四ツ手網の記憶」）
- ・平成 30 年 6 月 4 日 山陰中央新報「島根大 5 日に博物館開設 所蔵史料を無料で公開 島根大学総合博物館オープン」（島根大学総合博物館オープン）
- ・平成 30 年 6 月 5 日 山陰ケーブルテレビジョン・マーブル・番組名「まるまる松江」（島根大学総合博物館オープン）
- ・平成 30 年 6 月 5 日 B S S 山陰放送・番組名「レポート山陰」（島根大学総合博物館オープン）
- ・平成 30 年 6 月 6 日 産経新聞「島根大総合博物館オープン お宝資料ずらり」（島根大学総合博物館オープン）
- ・平成 30 年 6 月 6 日 中国新聞「島根大が新博物館 800 点展示」（島根大学総合博物館オープン）
- ・平成 30 年 6 月 6 日 山陰中央テレビ T S K・番組名「プライムニュースさんいん」（島根大学総合博物館オープン）
- ・平成 30 年 6 月 7 日 読売新聞「島大総合博物館が開館 松江キャンパス内 島根大学総合博物館オープン」（島根大学総合博物館オープン）
- ・平成 30 年 6 月 8 日 NHK 松江放送局・番組名「しまねっと 6 1 0（生中継）」（島根大学総合博物館オープン）
- ・平成 30 年 6 月 9 日 朝日新聞「島根大に博物館がオープン、化石や民俗資料など」（島根大学総合博物館オープン）
- ・平成 30 年 6 月 10 日 中国新聞「市民講座『石見学』で古里学ぶ」（第 103 回島根大学総合博物館市民講座「江の川流域・三江線沿線の文化遺産」）
- ・平成 30 年 6 月 20 日 毎日新聞「総合博物館オープン 「隠岐馬」骨格標本も展示」（島根大学総合博物館オープン）
- ・平成 30 年 7 月 12 日 山陰中央新報（島根大学総合博物館オープン）
- ・平成 30 年 8 月 1 日 山陰ケーブルテレビジョン・マーブル・番組名「まるまる松江」（島根大学総合博物館企画展「#カイジウ展」）
- ・平成 30 年 8 月 29 日 週刊さんいん学聞（山陰中央新報）「博物館はじめたよ 島根大松江キャンパス」（島根大学総合博物館オープン）
- ・平成 30 年 9 月 21 日 山陰ケーブルテレビジョン・マーブル・番組名「しまだいへ行こう！（第 6 回）」（島根大学総合博物館紹介）
- ・平成 30 年 10 月 8 日 山陰中央新報「旧制松江高ドイツ語教師孫の女性らが来訪 松江・旧奥谷宿舎」（ハンス・シュワルベ博士のご家族が島根大学旧奥谷宿舎に来館）
- ・平成 30 年 10 月 9 日 山陰中央新報「島根大総合博物館で写真展 中国・寧夏回族自治区、風土と暮らし紹介」（島根県・中国寧夏回族自治区友好交流 25 周年記念写真展～寧夏の自然と歴史と暮らしと）

- ・平成30年11月28日 山陰中央新報「島根大博物館入館1万人」(島根大学総合博物館入館者1万人達成セレモニー)
- ・平成31年1月27日 朝日新聞「チョコで『化石』レプリカ 松江で親子ら挑戦」(冬の子供ミュージアム体験教室「チョコレートで化石のレプリカを作ろう！」)
- ・令和元年9月8日 朝日新聞「石見の過疎を考える 島根大・作野教授語る」(第114回島根大学総合博物館アンカル講座「地図から読み解く石見の集落～なぜ石見は過疎発祥の地となったのか～」)
- ・令和元年10月18日 朝日新聞「南極の岩石や標本など展示」(令和元年度島根大学総合博物館アンカル企画展「南極調査物語」)
- ・令和元年11月11日 NHK松江放送局・番組名「しまねっと610」ほか(令和元年度島根大学総合博物館アンカル企画展「南極調査物語」)
- ・令和元年11月16日 朝日新聞「島根大旧奥谷宿舎でまちなこ展、12月1日まで」(猫写真展【Happy?】まちなこ美術館 in 松江 2019)
- ・令和2年2月12日 NHK松江放送局・番組名「中国地方のニュース」(冬の子供ミュージアム体験教室「チョコレートで化石・土偶のレプリカを作ろう！」)
- ・令和2年2月12日 山陰中央新報「チョコで作る古代ロマン 島大 化石や銅鐸 親子で体験」(冬の子供ミュージアム体験教室「チョコレートで化石・土偶のレプリカを作ろう！」)
- ・令和2年2月12日 毎日新聞「化石型チョコ発掘! 児童らが手作り 松江・島根大学」(冬の子供ミュージアム体験教室「チョコレートで化石・土偶のレプリカを作ろう！」)
- ・令和2年2月13日 山陰ケーブルテレビジョン・マーブル・番組名「まるまる松江」(冬の子供ミュージアム体験教室「チョコレートで化石・土偶のレプリカを作ろう！」)
- ・令和2年2月14日 日本海テレビ・番組名「金曜スパイス!!」(猫写真展【Innocent】まちなこ美術館 in 松江 2020)

9 総合博物館専任教員の活動記録

會下和宏 EGE Kazuhiro 学術研究院 人文社会科学系 教授

①著書・論文など

- ・会下和宏 2018.3「島根県中山間地域における文化財とミュージアム活動」『地域とつながる人文学の挑戦 山陰の文学・歴史学・考古学研究から考える（山陰研究ブックレット7）』今井出版 pp.69-91
- ・会下和宏 2018.11『寿昌寺西遺跡第1次調査』島根大学埋蔵文化財調査研究報告第10冊 島根大学総合博物館
- ・会下和宏 2019.7「松江市の黒曜石と瑪瑙を出土する遺跡」『松江市史・史料編1（自然環境）』松江市 pp.259-272
- ・会下和宏 2019.12「弥生時代の山陰地域における鉄器普及の様相」『山陰研究』第12号 pp.1-27
- ・会下和宏 2020.2「葬墓制と葬送儀礼を考える 弥生時代」『季刊考古学』pp.83-86

②学会発表など

- ・黄曉芬・阮文団・会下和宏・木下保明・黎文戦・周文衛・鶴澤和宏・丁麗玄・山下優介 2017.5「ベトナム交趾郡治・ルイロウ遺跡第3次発掘調査」『一般社団法人日本考古学協会第83回（2017年度）総会』（於・大正大学）
- ・会下和宏 2017.7「弥生墳墓における副葬行為の地域性と変遷」『考古学研究会岡山2017年7月例会』（於・岡山大学）
- ・黄曉芬・阮文団・会下和宏・張得戦・木下保明・懷英・丁麗玄・大川純一・周猛権 2018.5「ベトナム交趾郡治・ルイロウ遺跡第4次発掘調査とハイフォン市大型漢墓の新発見」『日本考古学協会第84回（2018年度）総会』（於・明治大学）
- ・黄曉芬・阮文団・会下和宏・木下保明・黎文戦・鶴澤和宏・丁麗玄 2019.5「ベトナム・ルイロウ墳墓群の現状調査とTK.M31・ND.M1の墳丘測量」『日本考古学協会第85回（2019年度）総会』（於・駒澤大学）

③学内兼任

- ・島根大学エスチュアリー研究センター兼任教員
- ・島根大学古代出雲プロジェクトセンター兼任教員
- ・島根大学ジオパークプロジェクトセンター兼任教員

④社会的活動（島根大学総合博物館主催のものは省略）

- ・講師「島根県中山間地域の文化財研究とミュージアム活動」『山陰研究センターシンポジウム「地域とつながる人文学の挑戦－山陰の文学・歴史学・考古学研究から考える－』島根大学法文学部山陰研究センターほか主催（2017.7.16、於・島根大学）
- ・講師『平成29年度第1回探訪会「佐太大神の足跡を訪ねるツアー」』島根大学くにびきジオパークプロジェクトセンター主催（2017.9.30、於・松江市島根町・鹿島町）
- ・講師「松江城下町を歩く」『ごうぎん島根文化振興財団・尚風館・授業』ごうぎん島根文化振興財団・尚風館主催（2017.10.7、於・松江市奥谷町・石橋町）
- ・講師「国引き神話と文化サイト」『ジオガイド養成講座（はじめの一步コース）』国引きジオパーク推進協議会主催（2017.11.11、於・松江市市民活動センター）
- ・司会「座談会・古代出雲と東海」『古代出雲文化フォーラムVI－古代出雲と東海』島根大学主催（2018.3.3、於・名古屋国際会議場レセプションホール）
- ・講師「ジオパークの視点からみた先史・古代の出雲文化」『島根半島・宍道湖中海ジオパークシンポジウム「日本列島の成り立ちと島根半島・宍道湖中海ジオパークを知ろう！」』島根大学くにびきジオパークプロジェクトセンター・島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会主催（2018.3.18、於・松江市くにびきメッセ）
- ・パネラー『石見銀山街道国史跡指定記念式典・パネルディスカッション「石見銀山街道活用の可能性」』美郷町主催（2018.5.25、於・美郷町みさと館）
- ・講師「国引き神話と文化サイト」『島根半島・宍道湖中海ジオパークジオガイド養成講座（はじめの一步コース）』

- 島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催（2018.7.22、於・松江市市民活動センター）
- ・講師「古代出雲の山・洞窟と信仰」『まつえ市民大学（ふるさとマイスターコース）』まつえ市民大学主催（2018.9.20、於・松江市市民活動センター）
- ・講師『平成 30 年度第 1 回探訪会「猪目洞窟周辺のジオと古代人の生活！」』島根大学ジオパークプロジェクトセンター主催（2018.10.27、於・出雲市）
- ・講師「弥生時代・出雲の交易を探る」『まつえ市民大学（ふるさと発見コース）』まつえ市民大学主催（2019.1.22、於・松江市市民活動センター）
- ・講師「出雲の弥生墳丘墓」『島根大学特別講座 in 広島』島根大学主催（2019.2.9、於・広島市まちづくり市民交流プラザ）
- ・講師「弥生時代の出雲の王墓」『古代出雲文化フォーラムⅦー古代出雲と吉備』島根大学主催（2019.3.3、於・岡山市・山陽新聞社さん太ホール）
- ・講師「今年度の探訪会から：猪目洞窟周辺のジオと古代人の生活」『平成 30 年度島根大学ジオパークプロジェクトセンターシンポジウム「島根半島・宍道湖中海ジオパークのジオツアーの魅力」』島根大学ジオパークプロジェクトセンター主催（2019.3.17、於・松江テルサ）
- ・講師「縄文～弥生時代の景観と遺跡」『松江市史講座・第 131 講』（2019.4.13、於・松江市総合文化センター）
- ・講師「国引き神話と文化サイト」『島根半島・宍道湖中海ジオパークジオガイド養成講座（はじめの一步コース）』島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催（2019.7.27、於・松江市市民活動センター）
- ・講師「島根の絶滅動物」『令和元年度島根県獣医学会市民公開講座』島根県獣医師会主催（2019.8.1、於・松江テルサ）
- ・講師「弥生時代の始まりの年代」『田和山学講座』田和山サポートクラブ主催（2019.10.5、於・松江市田和山館）
- ・講師「松江歴史探索」『尚風館・授業』ごうぎん島根文化振興財団・尚風館主催（2019.10.5、於・松江市城北地区）
- ・講師『令和元年度第 1 回探訪会「玉造温泉と花仙山周辺のジオと人々の生活」』島根大学ジオパークプロジェクトセンター主催（2019.11.16、於・松江市）
- ・講師「縄文・弥生時代の山陰と東アジア」『古代出雲文化フォーラムⅧ（プレ企画 in 岡山）』島根大学主催（2019.12.8、於・岡山市セントラルビル 2 号館）
- ・講師「大型墳丘墓が語る弥生時代後期の出雲」『まつえ市民大学（ふるさと探求コース）』まつえ市民大学主催（2020.1.21、於・松江市市民活動センター）
- ・講師「お墓で語る妻木晩田遺跡の弥生社会」『令和元年度鳥取弥生の王国・むきばんだ遺跡土曜講座』鳥取県立むきばんだ史跡公園主催（2020.2.8、於・鳥取県立むきばんだ史跡公園）
- ・国引きジオパーク運営協議会専門部会 委員 2017 年度
- ・出雲弥生の森博物館運営協議会 会長 2017～2019 年度
- ・日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員会 委員 2017～2019 年度
- ・島根考古学会 幹事 2017～2019 年度
- ・島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク運営協議会専門部会 委員 2018・2019 年度
- ・石見銀山街道保存活用計画策定委員会 委員 2018・2019 年度
- ・神後田遺跡発掘調査指導委員会 委員 2019 年度
- ・島根県古代文化センター・テーマ研究「古代出雲と吉備の交流」客員共同検討会 客員研究員 2019 年度
- ・まつえ市民大学運営協議会 委員 2019 年度

⑤担当授業

【学芸員資格取得に関する科目（総合博物館開講）】

- ・「博物館概論 A」
- ・「博物館資料論」
- ・「博物館資料保存論」（分担）
- ・「博物館展示論 A」
- ・「博物館教育論 A」
- ・「博物館教育論 B」
- ・「博物館情報・メディア論 A」
- ・「博物館情報・メディア論 B」

- ・「博物館実習Ⅰ」（島根大学法文学部学生向け）
- ・「博物館実習Ⅱ」（島根大学法文学部・総合理工学部学生向け、分担）
- ・「博物館実習Ⅲ」（島根大学法文学部・総合理工学部学生向け）

【島根大学教養科目ほか】

- ・「島大ミュージアム学」「地域博物館へのいざない」（分担）
- ・「フィールドで学ぶ『斐伊川百科』」（法文学部など開講、分担）
- ・「ジオパーク学入門」（ジオパークプロジェクトセンター開講、分担）
- ・「ジオパーク学各論」（ジオパークプロジェクトセンター開講、分担）